

山梨県のシンボル

県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。 昭和39年6月制定

県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などよまれています。 昭和41年9月制定

県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。 昭和29年制定

県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。 昭和39年6月制定

目次

山梨ってどんな県? 2

グラフでみるやまなし

自然・気象 4

人口 5

経済 7

事業所 8

工業 9

商業 11

農業 12

労働 13

物価 14

家計 15

福祉・医療 16

社会生活 17

教育 18

交通・通信・エネルギー 19

観光・国際交流 20

居住環境 21

災害・事故 22

統計グラフコンクール入賞作品集 23

表紙の説明

「山梨のみりよく」

「第67回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の
山梨学院小学校2年 石坂 優衣さんの作品です。

山梨ってどんな県？

全国順位上位3位以内の主なものを
分野別に掲載しました。

自然

■森林面積割合(対総面積)



平成26年度
全国3位 77.8%

資料:統計でみる都道府県のすがた2020(総務省統計局)

■日照時間(年間)



平成30年度
全国1位 2,391.3時間

文化

■図書館数(人口100万人当たり)



平成27年度
全国1位 65.9館

資料:統計でみる都道府県のすがた2020(総務省統計局)

■公民館数(人口100万人当たり)



平成27年度
全国2位 585.7館

資料:統計でみる都道府県のすがた2020(総務省統計局)

■博物館数 (人口100万人当たり)



平成27年度
全国2位 34.7館

安全

■消防水利数(人口10万人当たり)



平成30年度
全国2位 3,760.6所

資料:統計でみる都道府県のすがた2020(総務省統計局)

労働

■高齢就業者割合 (65歳以上)(対65歳以上人口)



平成27年度
全国2位 27.0%

資料:統計でみる都道府県のすがた2020(総務省統計局)

健康

■健康寿命



平成28年
男性 全国1位 73.21年
女性 全国3位 76.22年

資料:厚生科学審議会第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会

農業

■ぶどう収穫量(年間)



平成30年
全国1位 41,800 t

資料:作物統計調査(農林水産省)

■もも収穫量(年間)



平成30年
全国1位 39,400 t

資料:作物統計調査(農林水産省)

■すもも収穫量(年間)



平成30年
全国1位 7,820 t

工業

■ワイナリー数



平成30年度
全国1位 85事業所

資料:国内製造ワインの概況(国税庁)

工業

■生産量
日本ワイン



平成30年度
全国1位 5,189kℓ

資料:果実酒製造業者実態調査(国税庁)

■出荷額(年間)
ミネラルウォーター



平成29年
全国1位 757億円

資料:平成30年工業統計調査(経済産業省)

■事業所数
貴金属・宝石製装身具製品製造業



平成30年
全国1位 95事業所

家計

■出荷額(年間)
数値制御ロボット



平成29年
全国1位 2,723億円

資料:平成30年工業統計調査(経済産業省)

■支出金額(1世帯当たり年間)
ぶどう



平成28年~30年平均
全国1位 6,236円

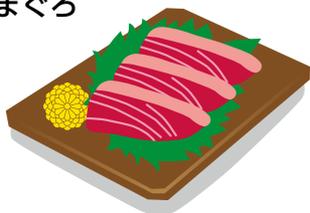
資料:家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング

■支出金額(1世帯当たり年間)
あさり



平成28年~30年平均
全国1位 1,156円

■支出金額(1世帯当たり年間)
まぐろ



平成28年~30年平均
全国2位 9,379円

資料:家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング

■支出金額(1世帯当たり年間)
書籍



平成28年~30年平均
全国3位 11,624円

資料:家計調査(総務省)

■支出金額(1世帯当たり年間)
人間ドック等受診料



平成28年~30年平均
全国2位 6,344円

社会生活

■1日の食事時間



平成28年
全国1位 1時間45分

■「ボランティア活動」の行動者率(年間)
(障害者を対象とした活動)



平成28年
全国1位 2.0%

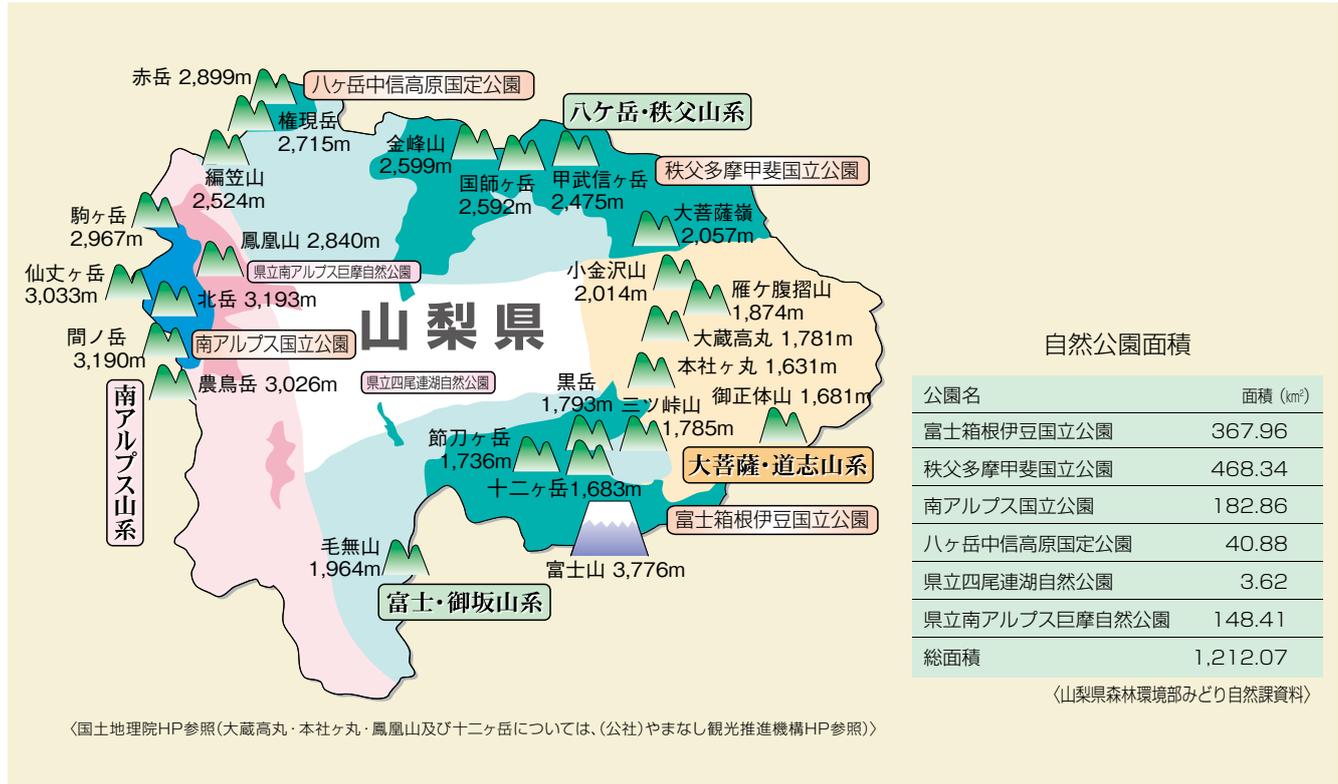
■「ゲートボール」の行動者率(年間)



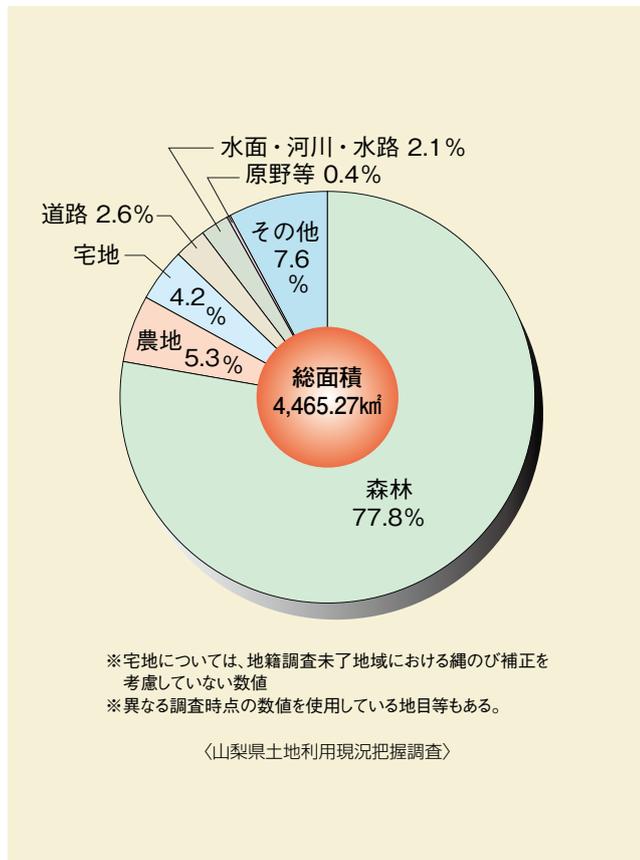
平成28年
全国2位 1.8%

資料:平成28年 社会生活基本調査 結果報告書(統計調査課)

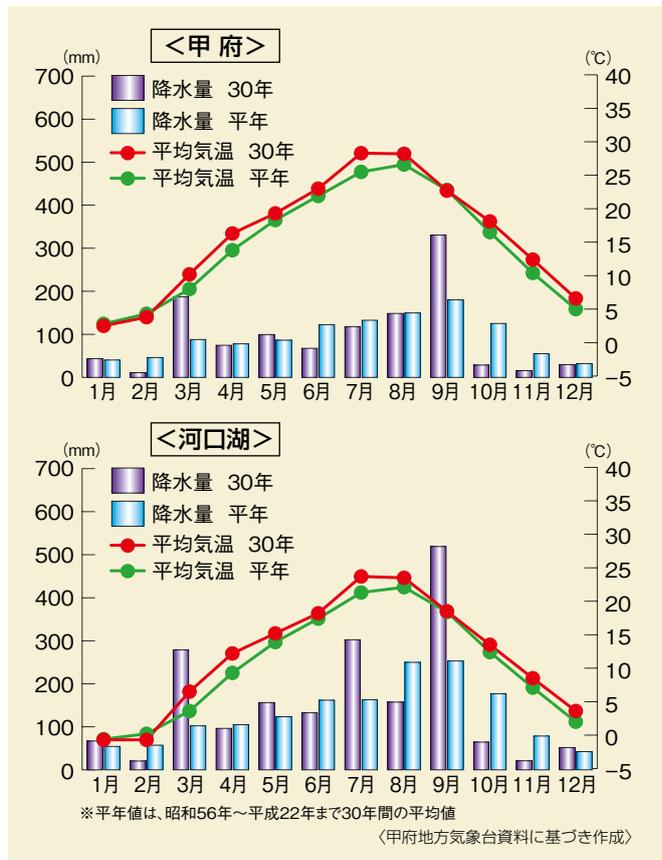
主な山梨百名山・自然公園面積



山梨県土地利用状況 (平成30年10月1日)



月別平均気温と降水量 (平成30年)



本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

人口

本県人口及び人口増加率の推移 (大正9年～令和元年) (人口は各年10月1日現在)

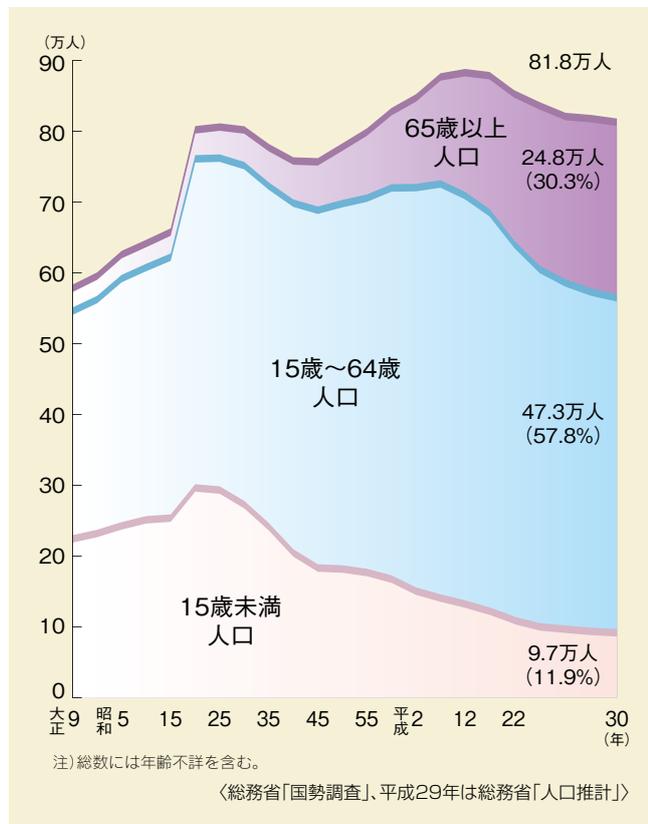


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

注) 人口増加率は大正9年～平成27年は5年間の数値、平成28～令和元年は1年間の数値。そのため平成27年と平成28年は接続しない。

〈大正9年～平成27年は総務省「国勢調査」、平成28～令和元年は「山梨県常住人口調査」〉

年齢別人口の推移 (大正9年～平成30年)



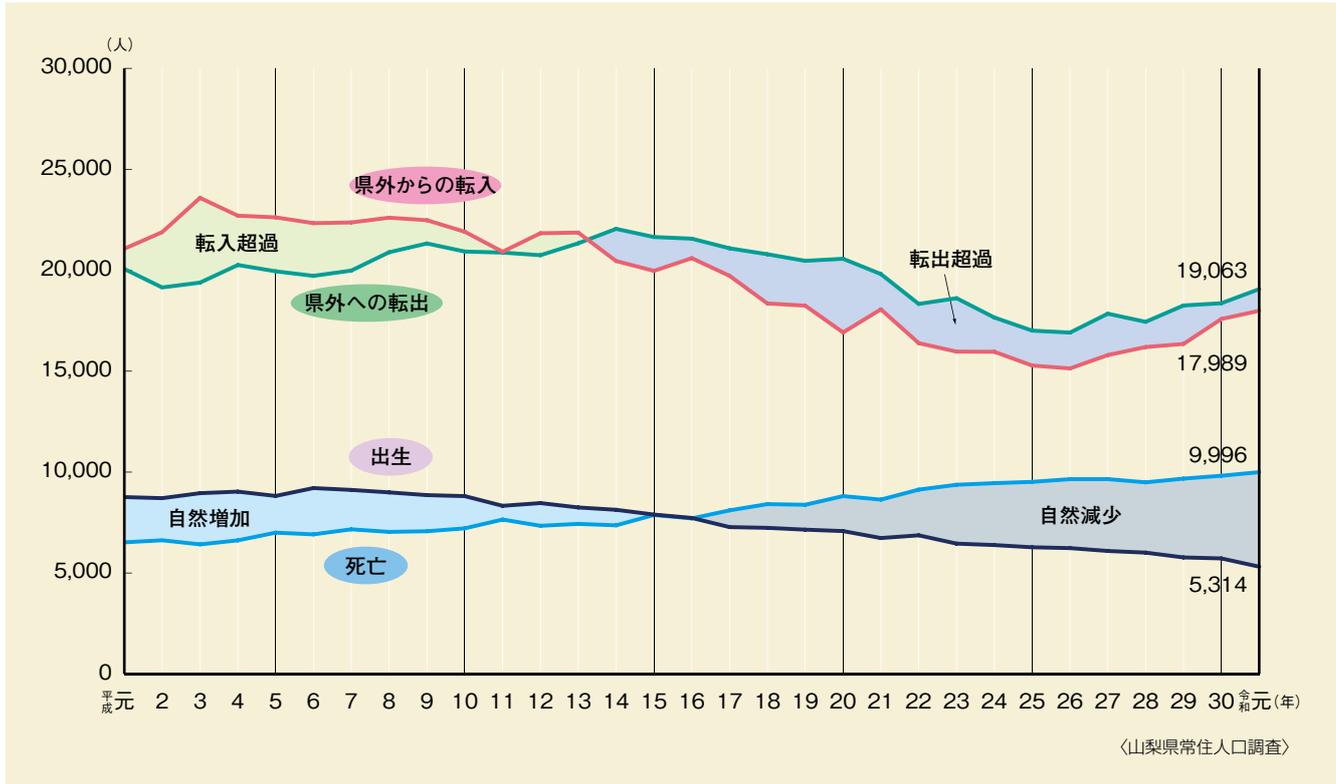
本県と全国の65歳以上人口割合の推移 (昭和30年～平成30年)



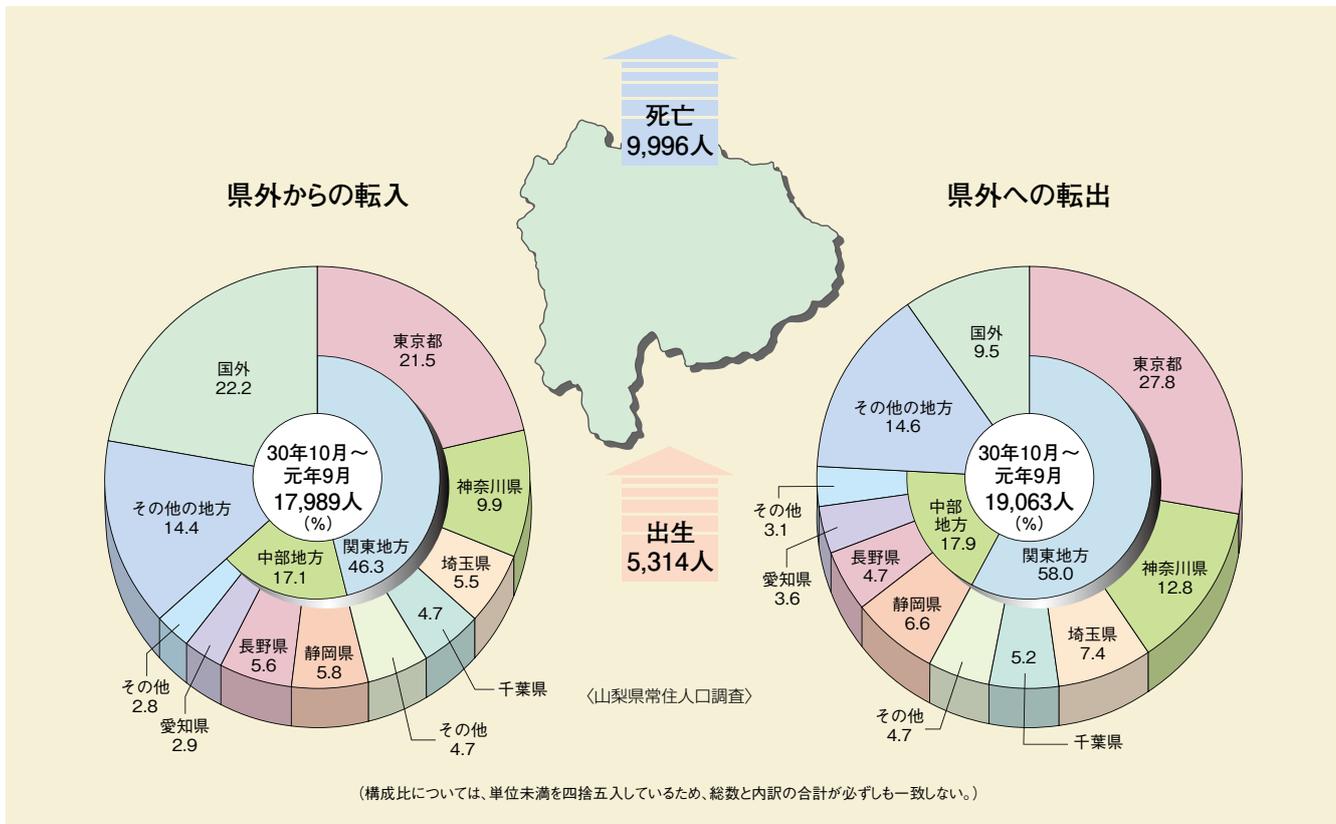
令和元年10月1日現在の人口は、81万2,056人となっています。

平成30年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.7万人(11.9%)、15歳～64歳人口47.3万人(57.8%)、65歳以上人口24.8万人(30.3%)となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることとなり、平成30年では本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)

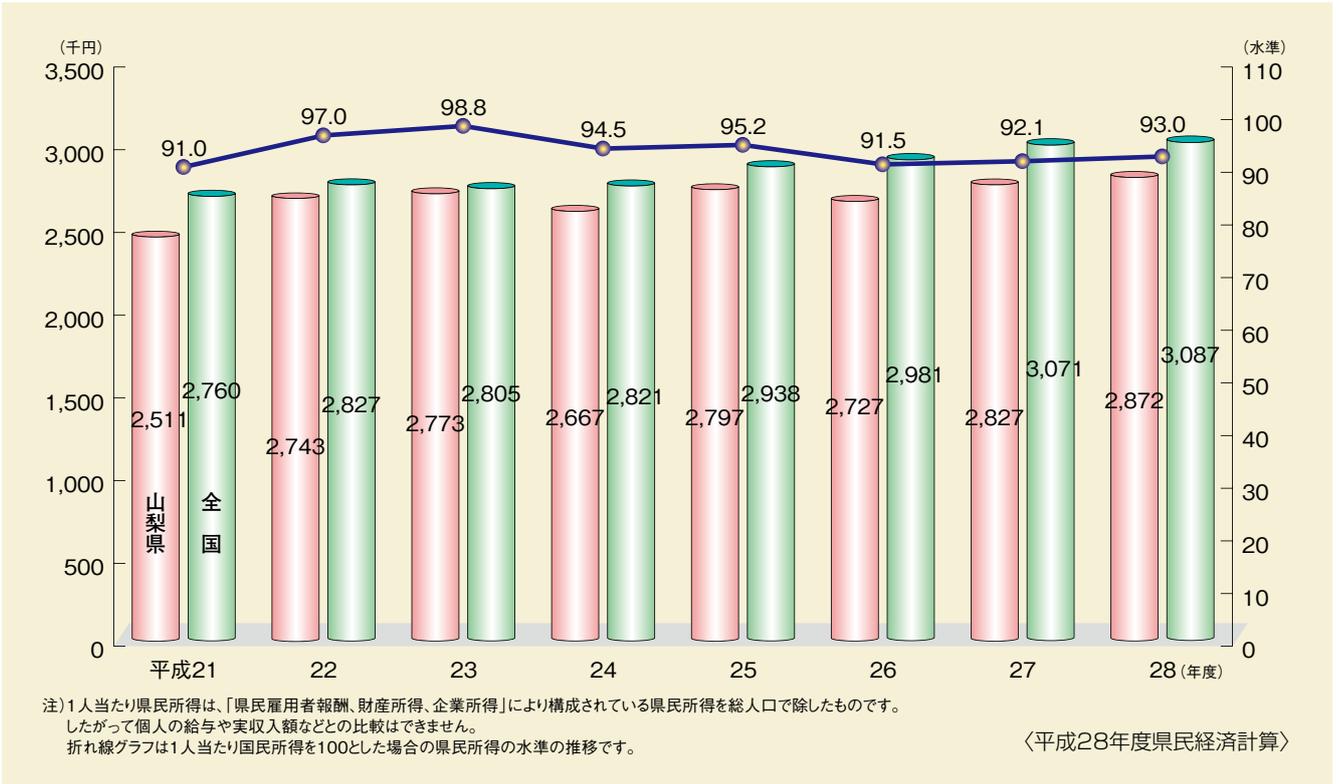


人口動態 (平成30年10月1日～令和元年9月末)

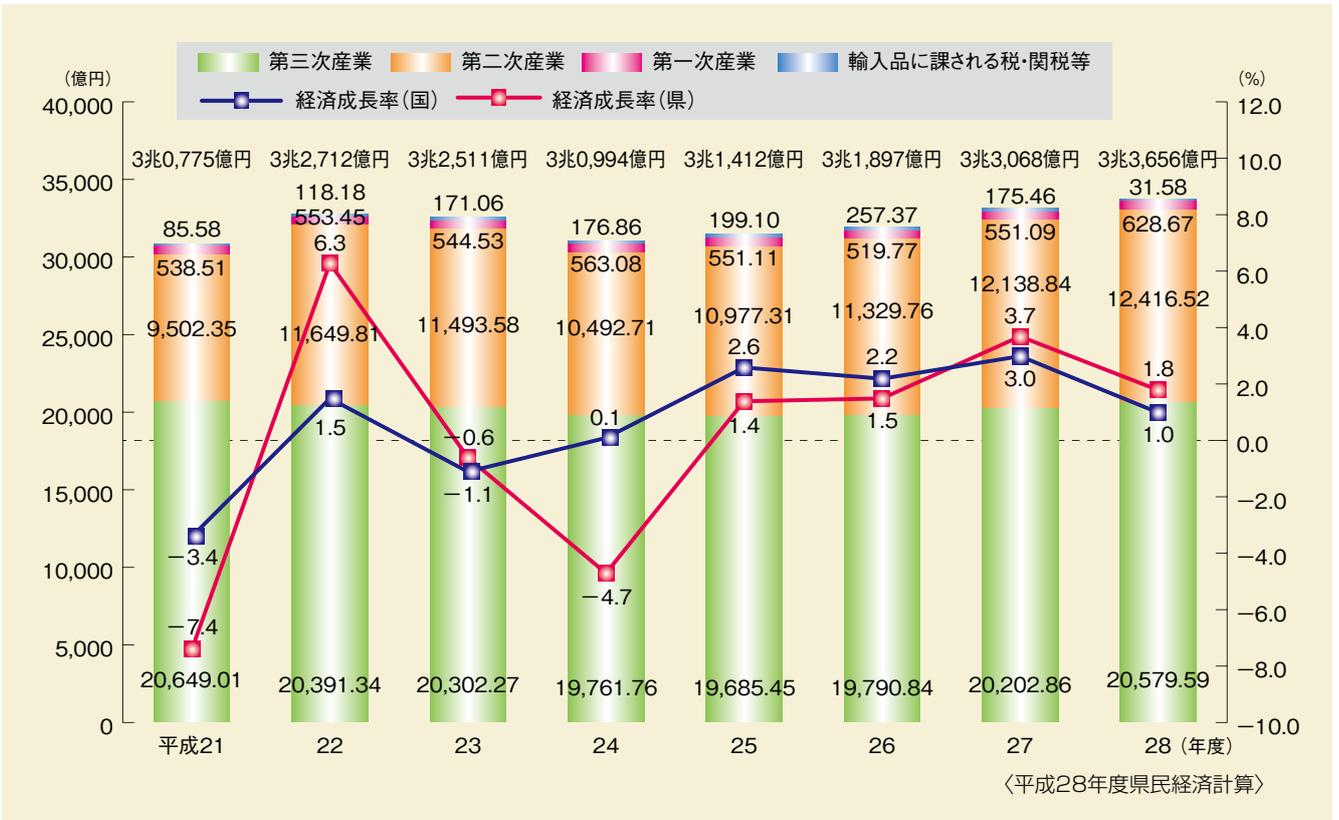


平成30年10月1日から令和元年9月30日までの人口の動きをみると、出生5,314人、死亡9,996人で、4,682人の自然減となっています。県外からの転入者は17,989人、県外への転出者は19,063人となっており、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



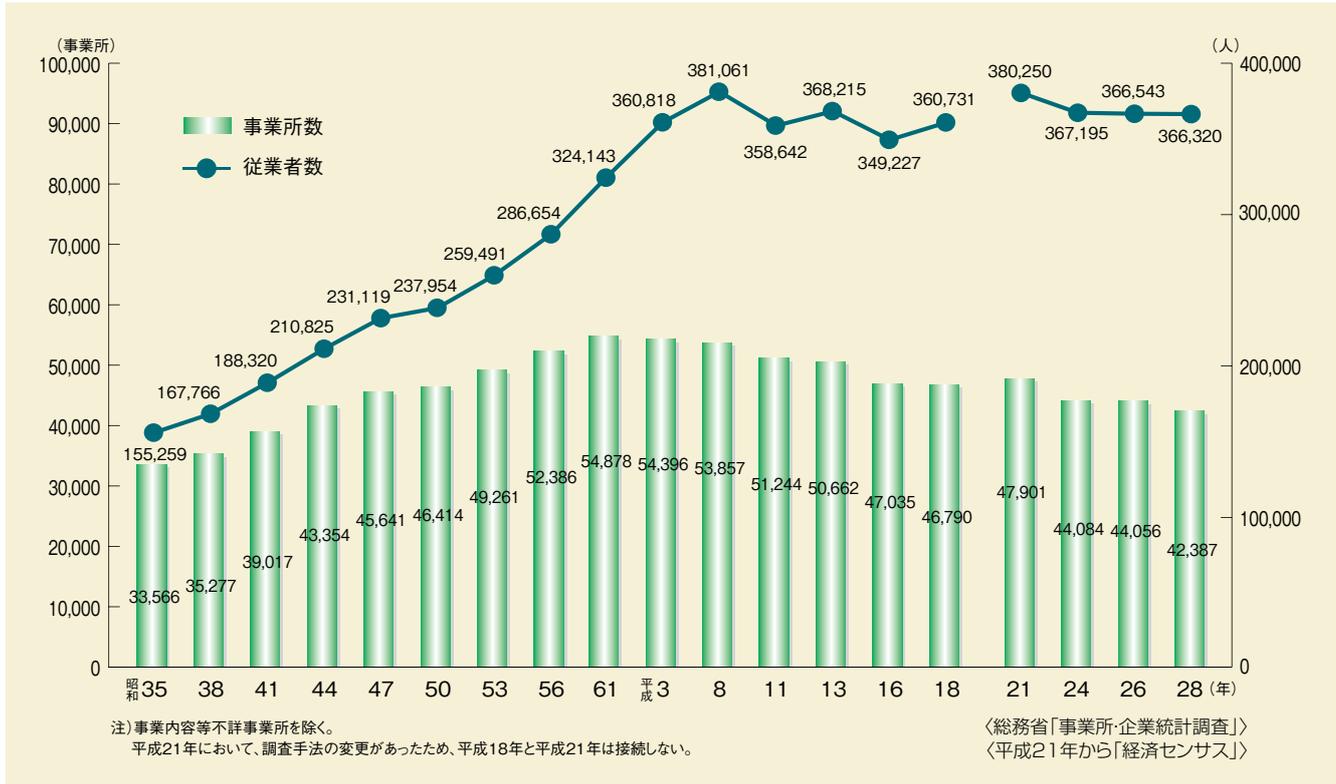
県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)



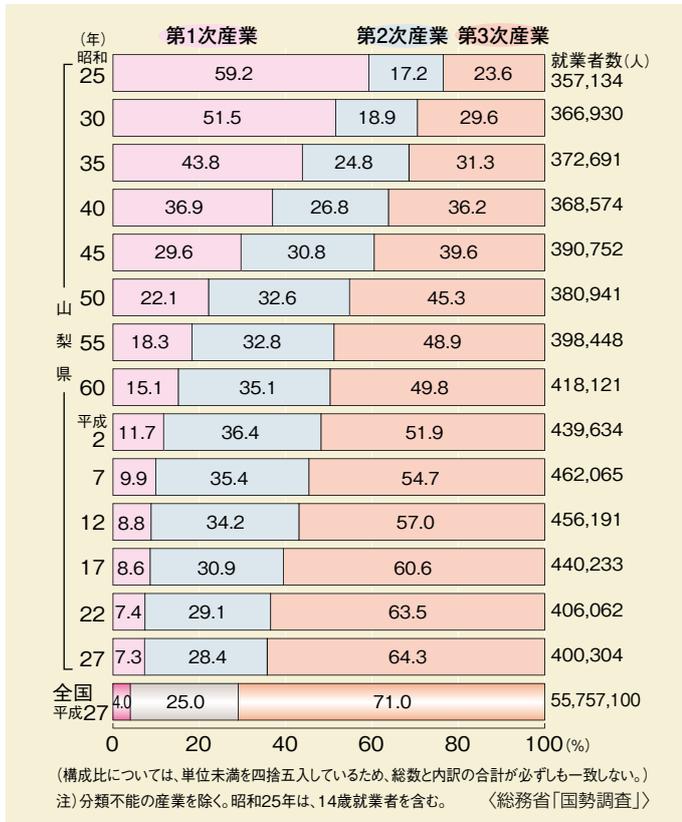
平成28年度の県内総生産は、名目で3兆3,656億円で、前年度に比べて1.8%(588億円)の増加となりました。

1人当たり県民所得は2,872千円で、前年度に比べ45千円増加しました。また、1人当たり国民所得3,087千円を100とした水準は93.0となり、前年度に比べて0.9ポイント上昇しました。

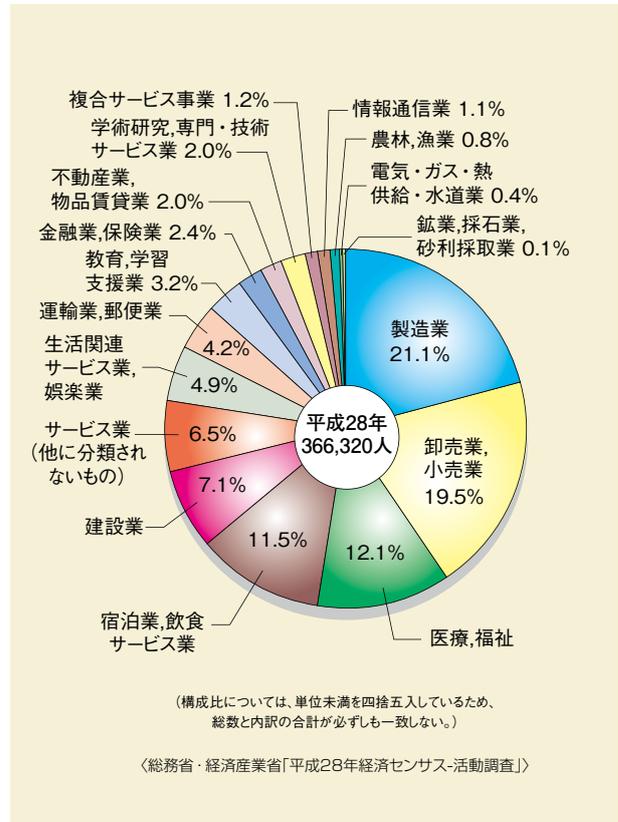
民営事業所数及び従業者数の推移



産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移

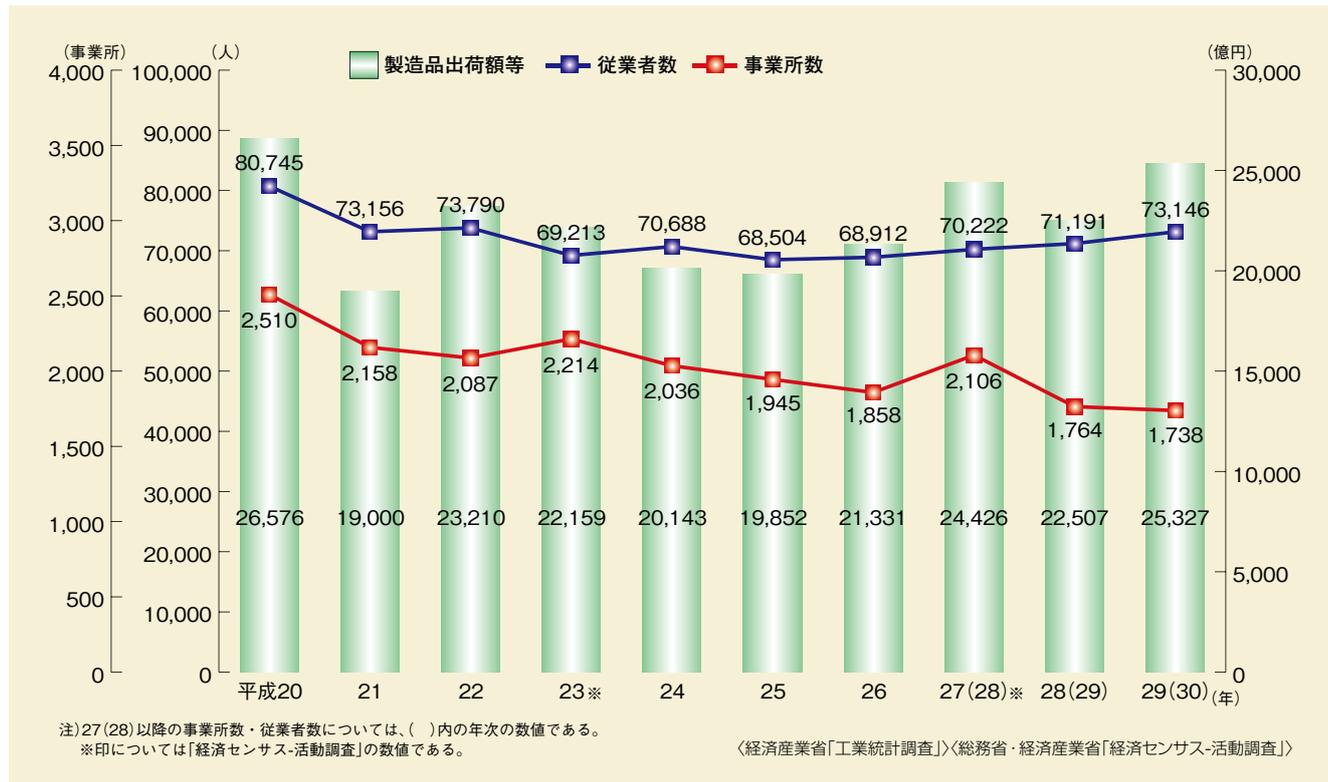


産業別従業者数構成比

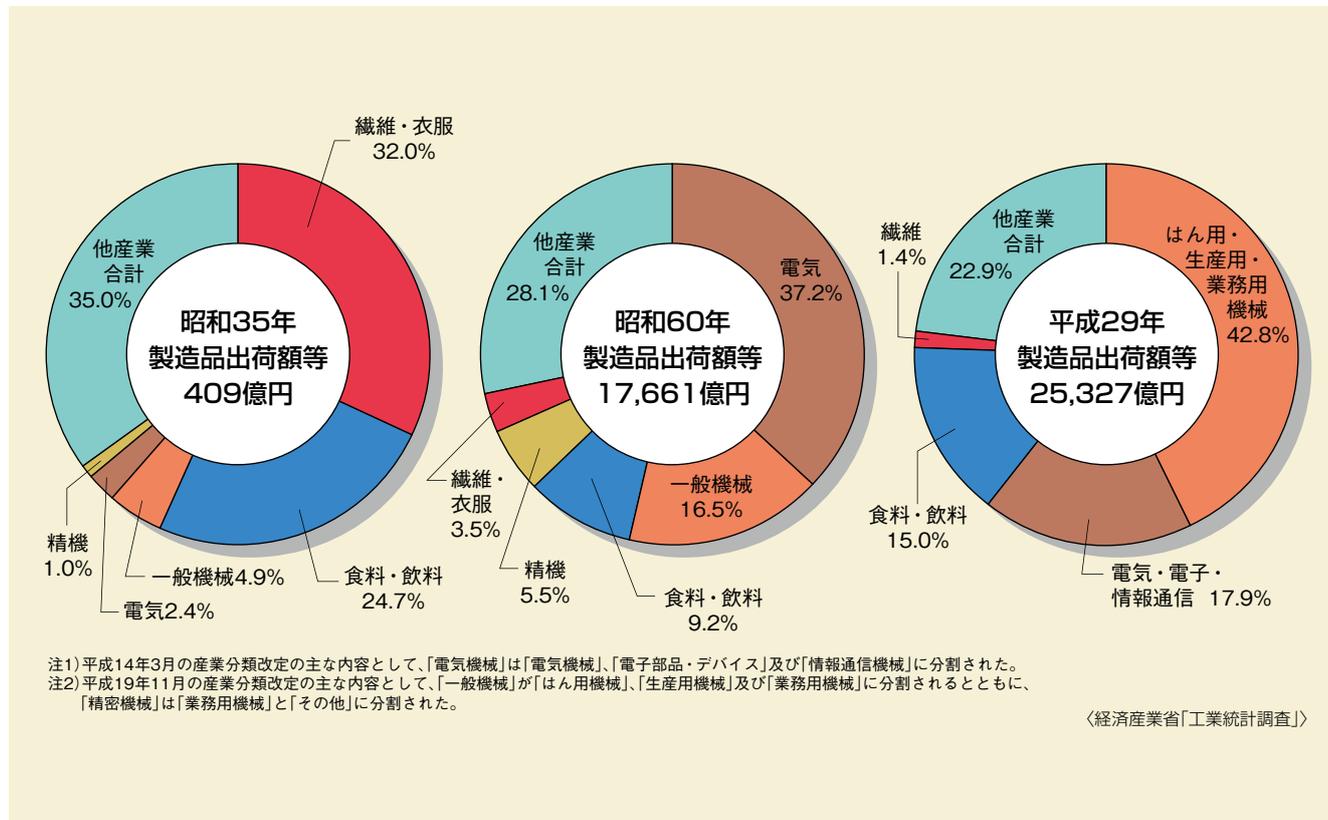


平成28年の事業所数は42,387事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.1%、卸売業、小売業19.5%、医療、福祉12.1%の順となっています。本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成27年は、第1次産業は7.3%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から64.3%へと増加しています。

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)



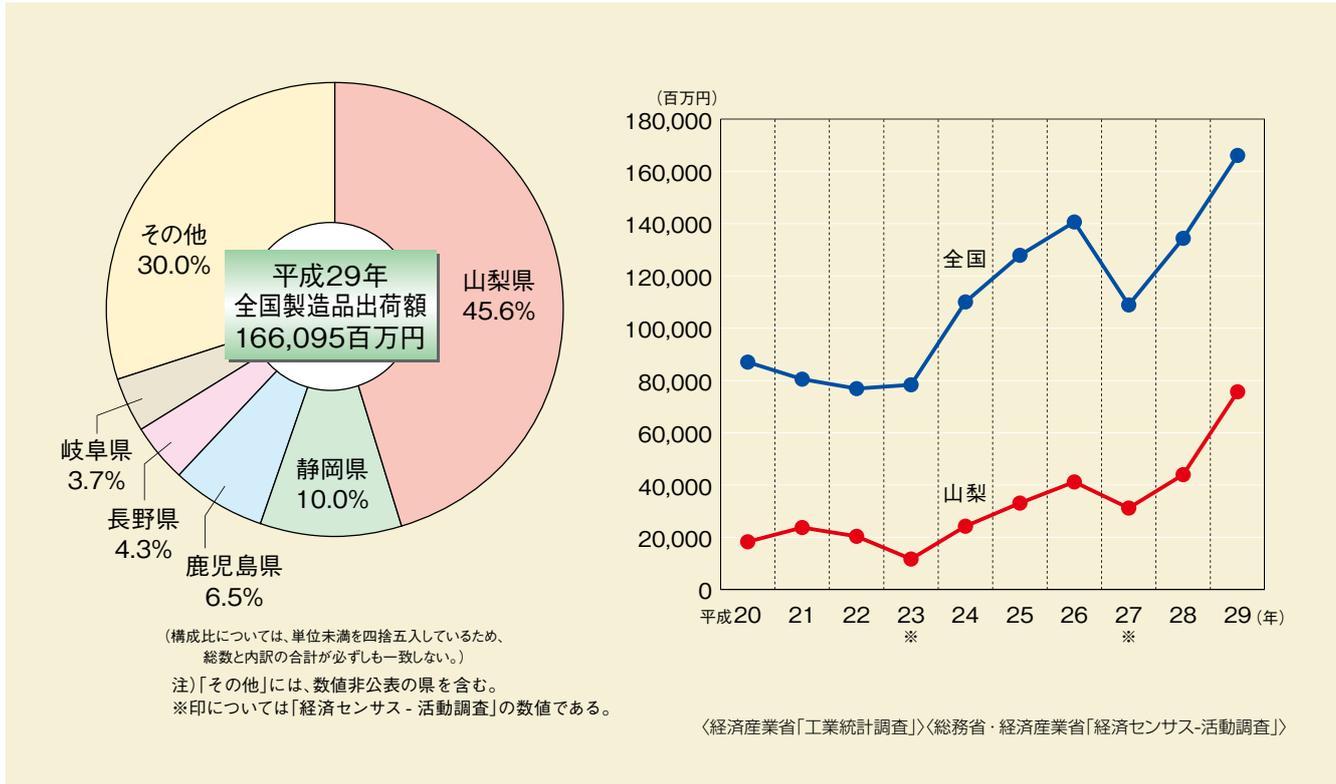
産業別製造品出荷額等の構成の変化(従業者4人以上の事業所)



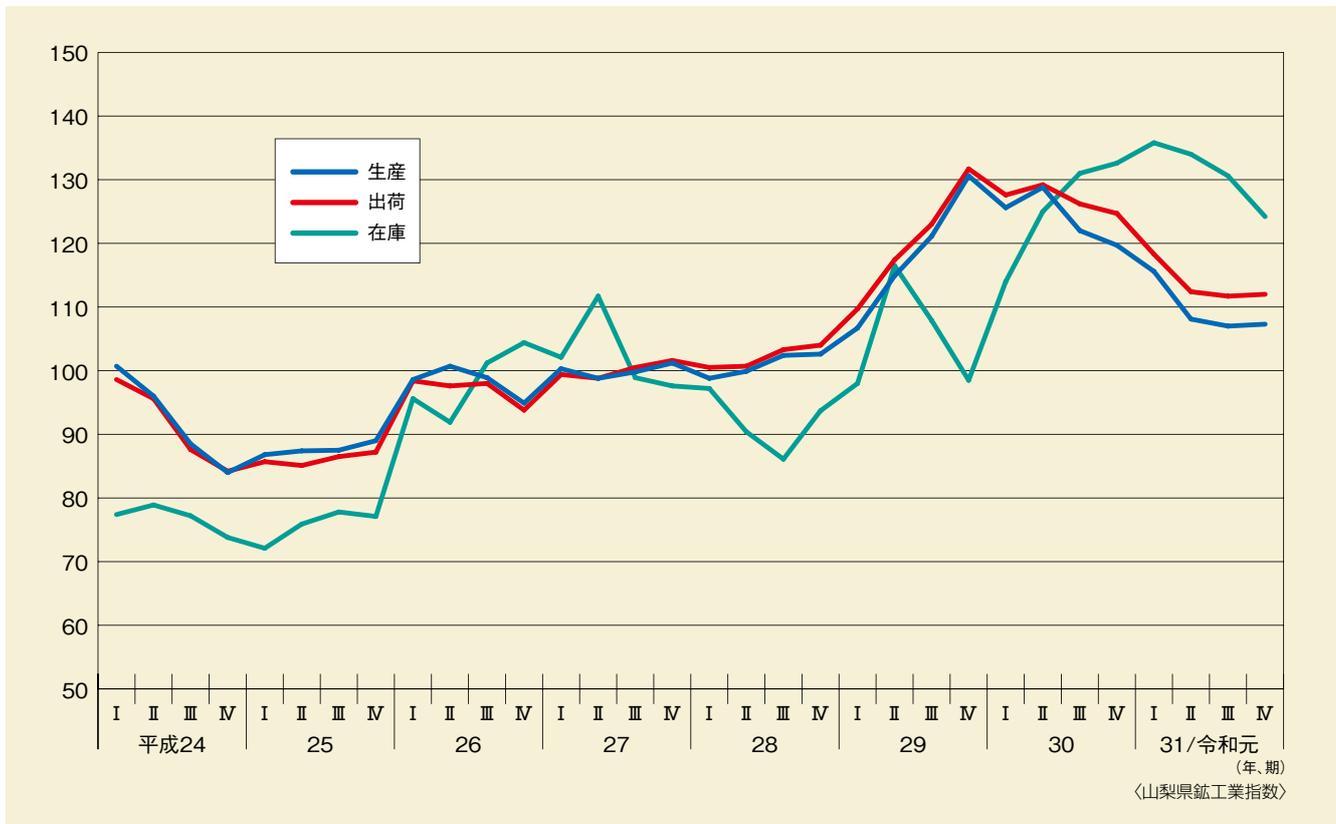
平成30年の従業者4人以上の製造業の事業所数は1,738事業所で、前年に比べ減少しましたが、従業者数は73,146人、平成29年一年間の製造品出荷額等は2兆5,327億円で、いずれも前年と比べ増加しました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。平成29年は、はん用・生産用・業務用機械と電気・電子・情報通信の合計が全体の約6割を占めています。

製造品出荷額全国1位「ミネラルウォーター」出荷額の推移(従業員4人以上の事業所)



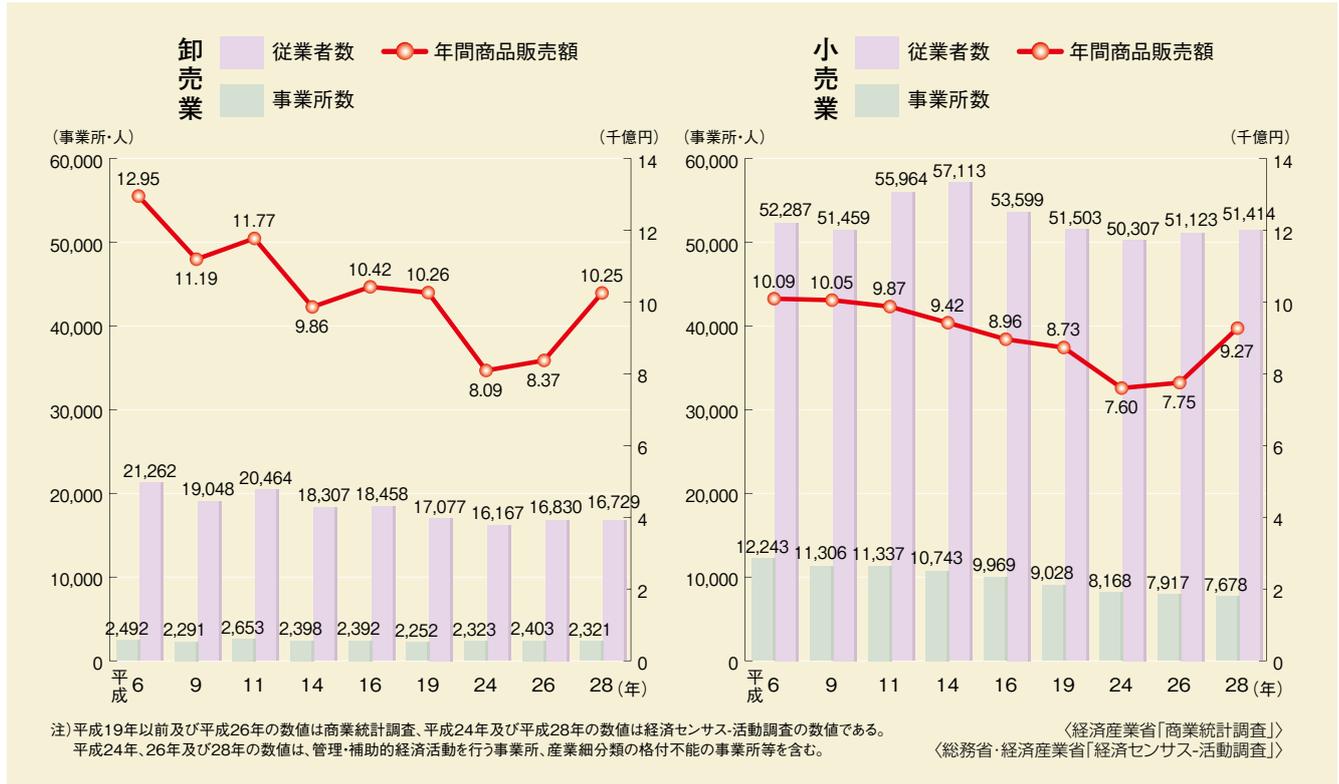
鉱工業指数の推移(平成27年=100 季節調整済)



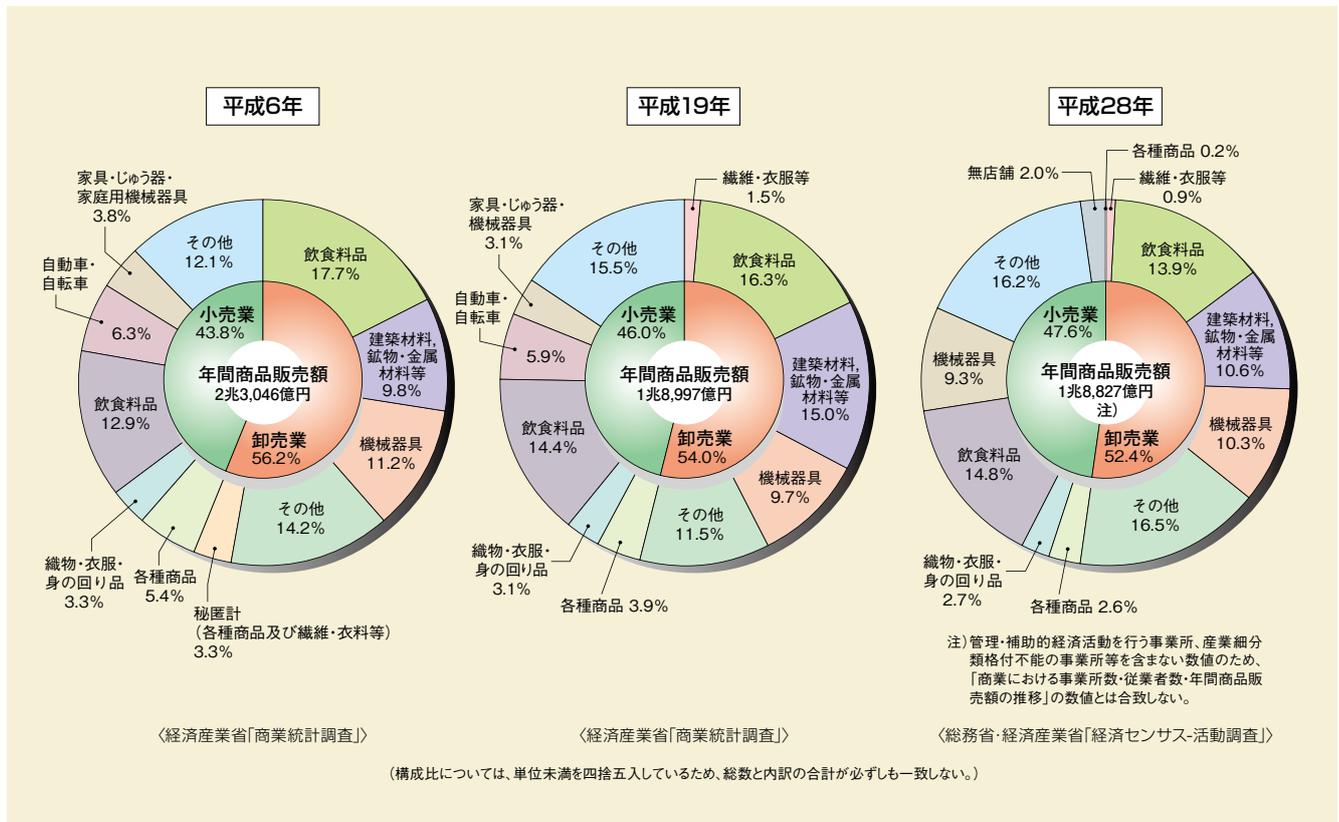
平成29年の品目別製造品出荷額をみると、本県はミネラルウォーターの出荷額が日本一となっており、全国の出荷額の45.6%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成28年Ⅱ期頃から上昇を続けていましたが、平成29年Ⅳ期をピークに以後は低下傾向にあります。

商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

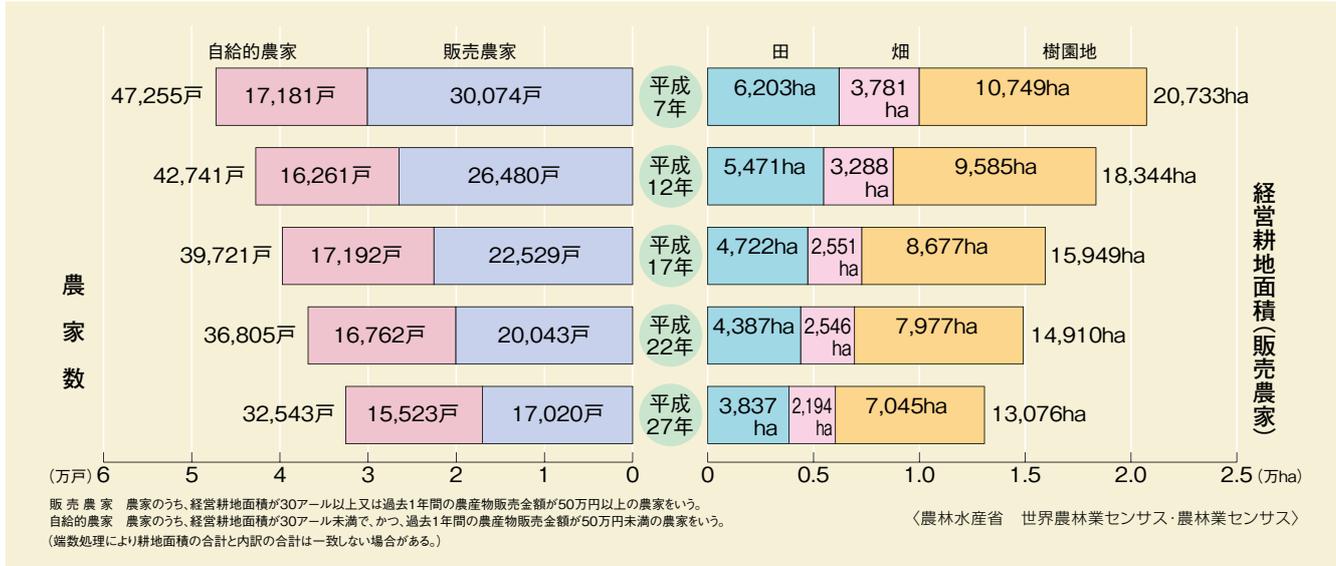


業種別年間商品販売額構成比の推移

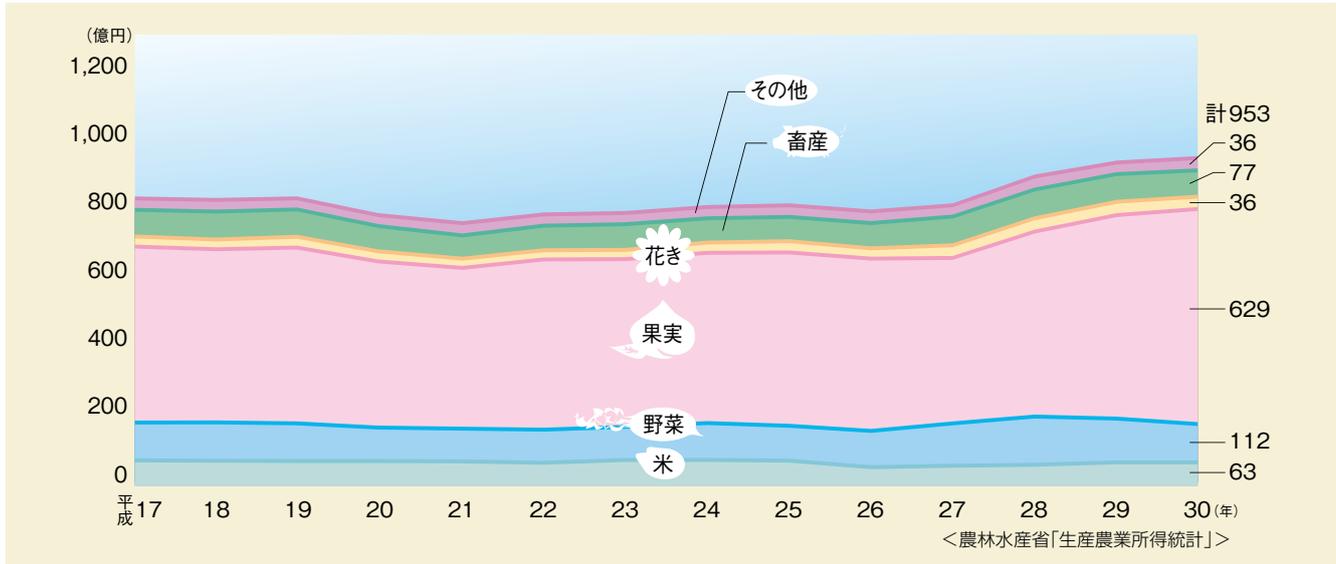


平成28年の卸・小売業数は9,999事業所、従業者数は68,143人、年間商品販売額は1兆9,526億円となっています。業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。平成28年では新たな業態である無店舗小売業が2.0%となっています。

農家数及び経営耕地面積(販売農家)の推移



農業産出額の推移



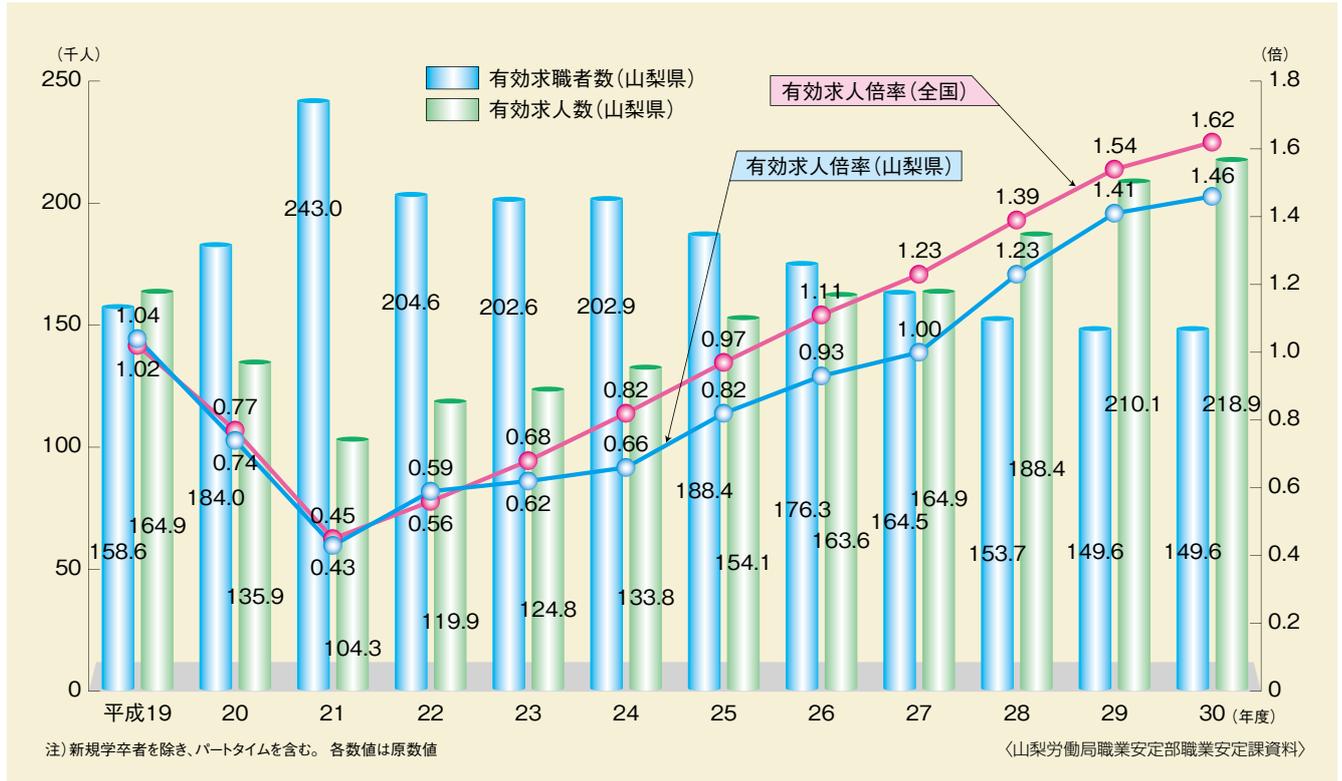
ぶどう・もも・すももの収穫量(平成30年)



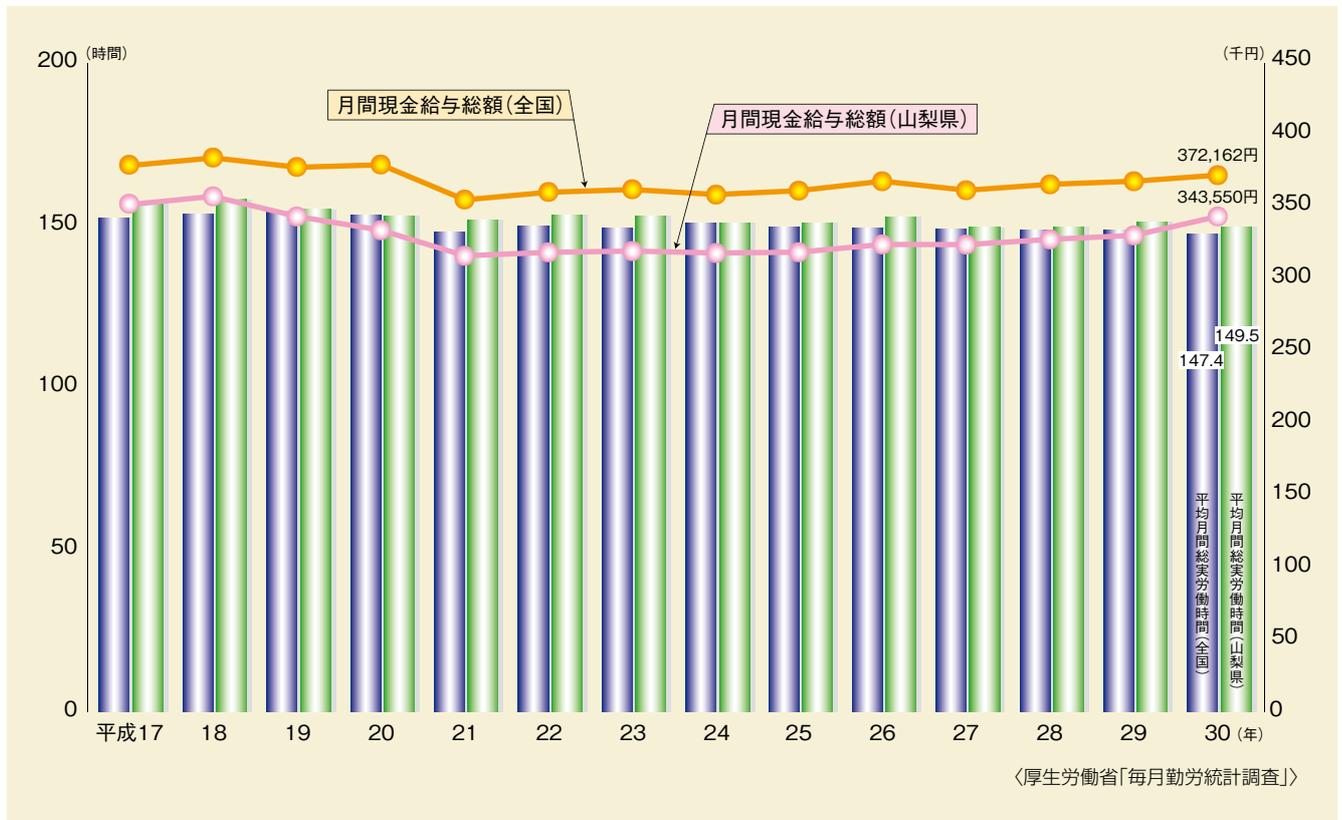
平成27年の本県の農家数及び経営耕地面積(販売農家)は、それぞれ32,543戸、13,076haで、平成22年と比べ農家数で4,262戸、経営耕地面積で1,834ha減少しています。

平成30年の農業産出額の割合は、果実が全体の66.0%を占め、次いで野菜11.8%、畜産8.1%、米6.6%、花き3.8%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



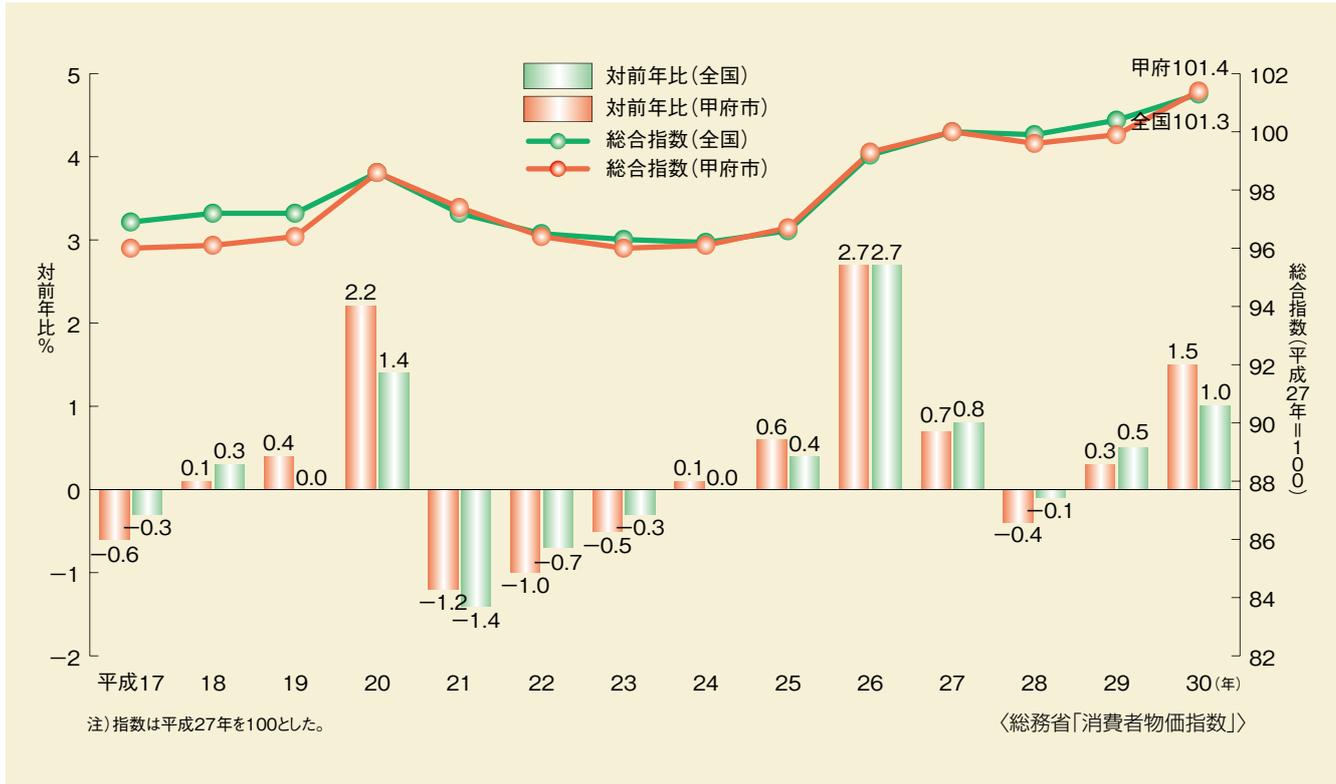
労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)



平成30年度の有効求職者数は14万9,629人で、前年に比べて78人(0.1%)増加、有効求人数は21万8,940人で、前年に比べて8,800人(4.2%)増加、有効求人倍率は1.46倍で、前年に比べて0.05ポイントの増加となりました。

平成30年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間は149.5時間で、全国平均の147.4時間を2.1時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、343,550円で、全国平均の372,162円を28,612円下回っています。

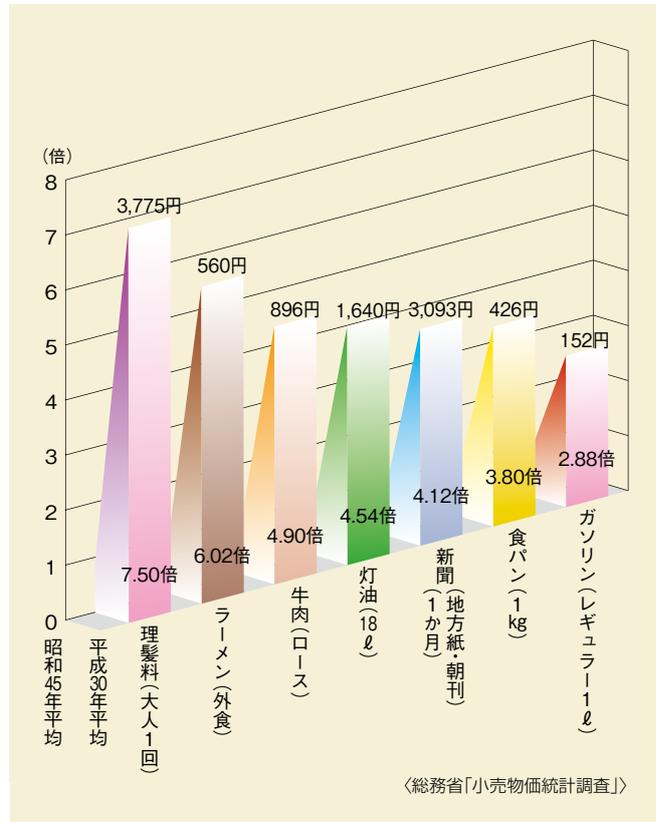
消費者物価指数の推移 (各年平均)



消費者物価地域差指数 (平成30年平均)



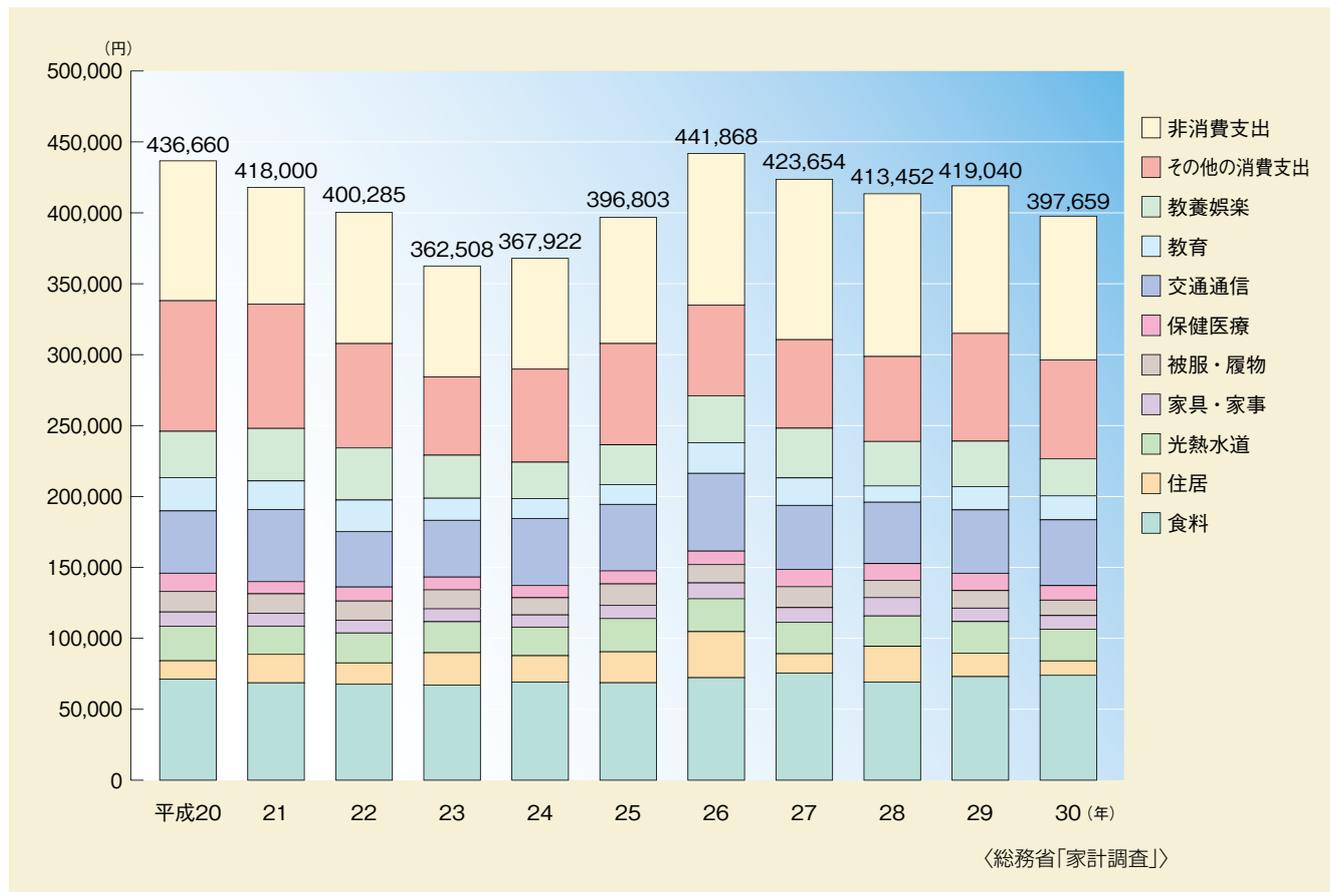
平成30年と昭和45年の小売物価の比較(甲府市)



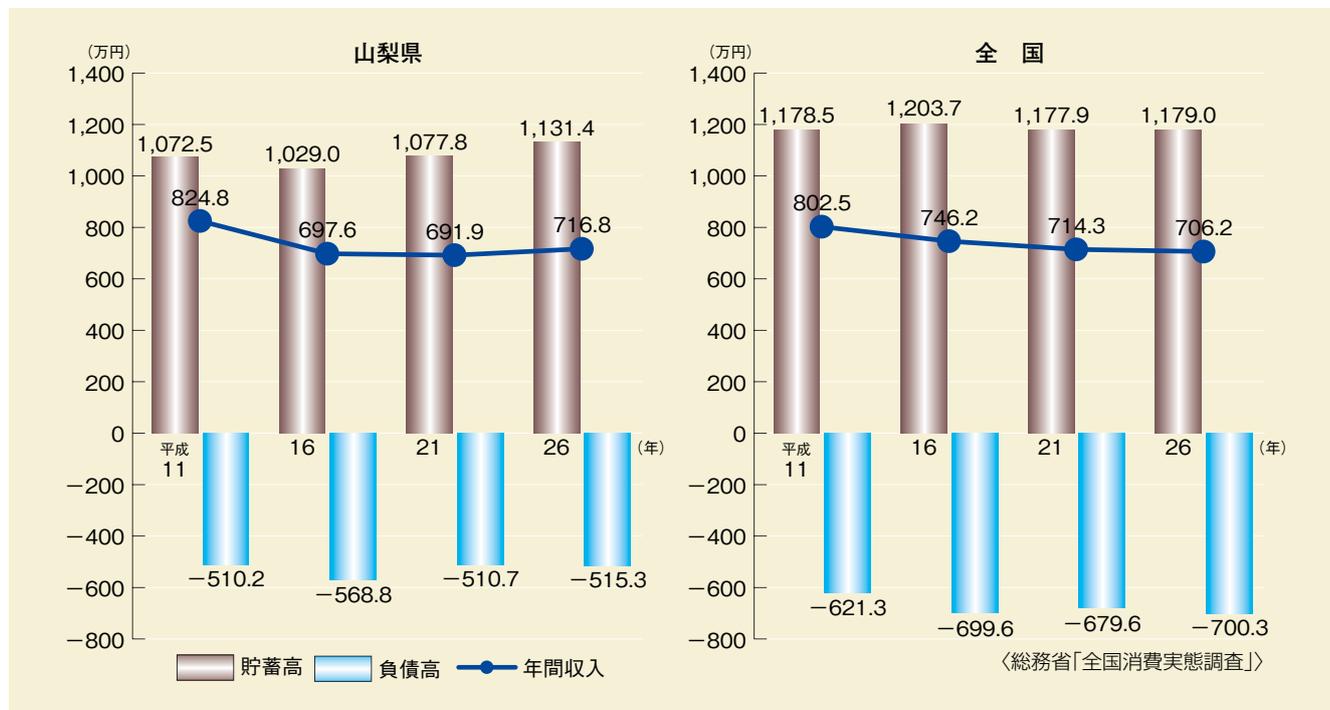
平成30年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は101.4(平成27年=100)となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は99.4(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部・横浜市に比べ5.7ポイント低くなっています。

平成30年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.50倍、ラーメン(外食)は6.02倍、牛肉(ロース)は4.90倍などとなっています。

勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)



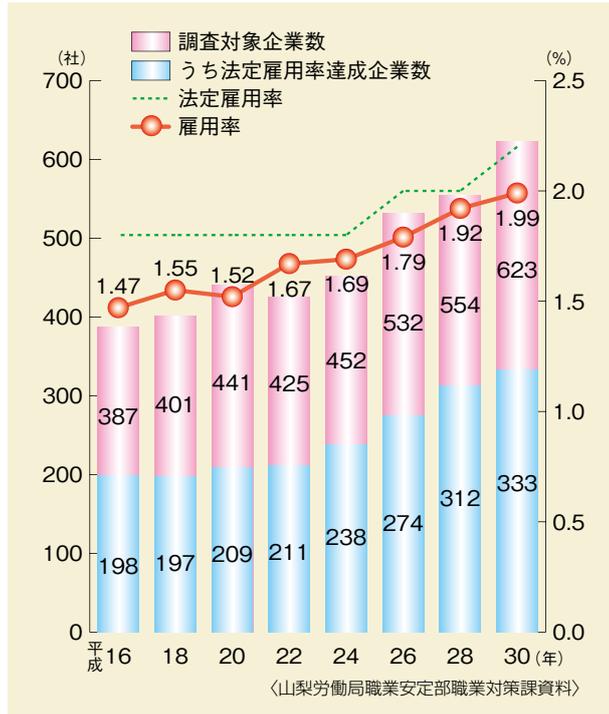
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移 (各年11月末日現在)



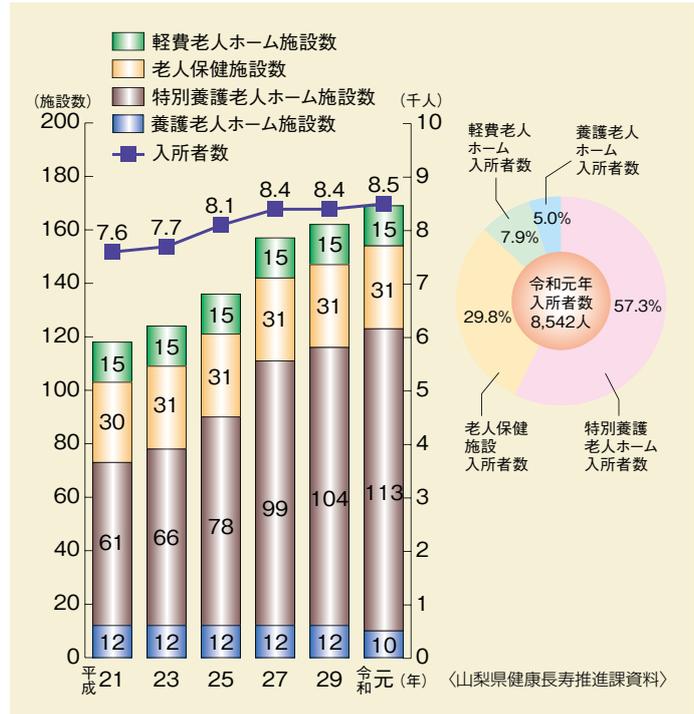
平成30年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は397,659円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が25.5% (101,344円)、消費支出は全体の74.5% (296,315円)となっています。

平成26年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は1,131万4千円、負債現在高は515万3千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業) (各年6月1日現在)

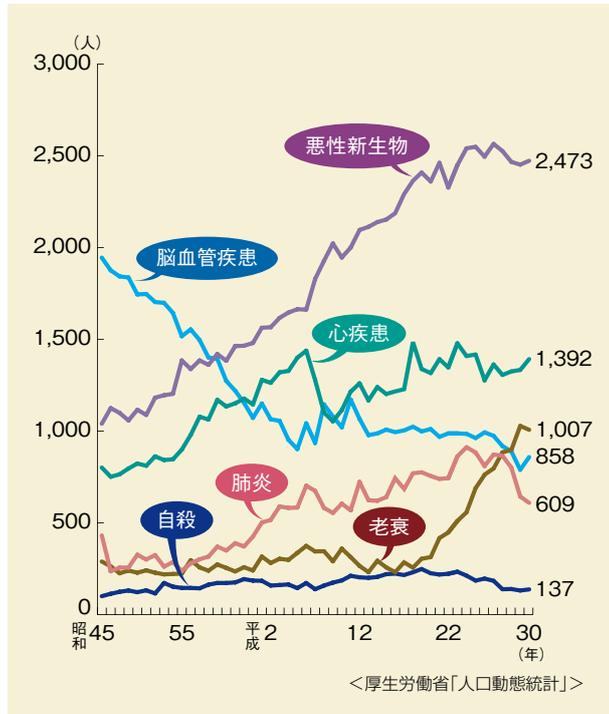


老人関係施設入所者数の推移 (各年8月1日現在)

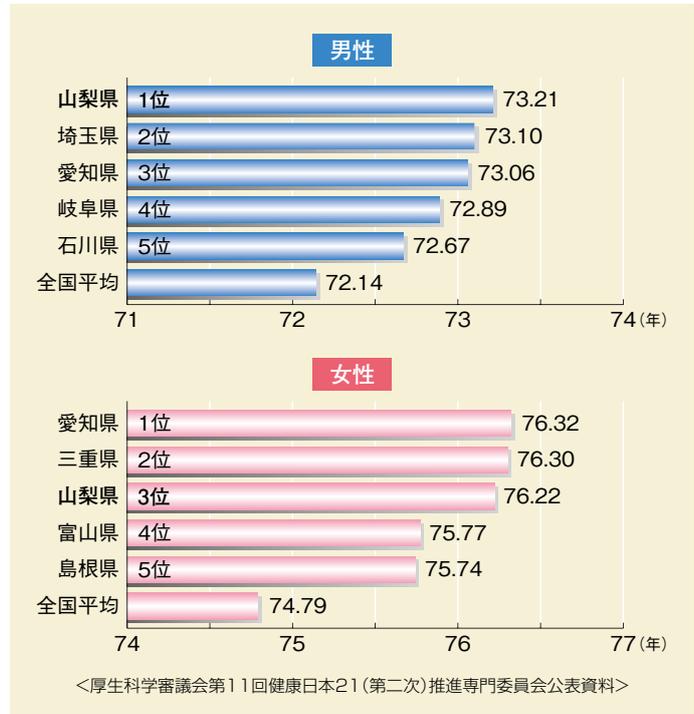


本県の障害者雇用率は平成30年6月1日現在1.99%であり、法定雇用率の2.2%を0.21ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は333社で、達成率は53.5%となっています。令和元年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,542人で、2年前より154人(1.8%)増加しています。また、施設数は169施設で、平成21年と比べると51施設(43.2%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



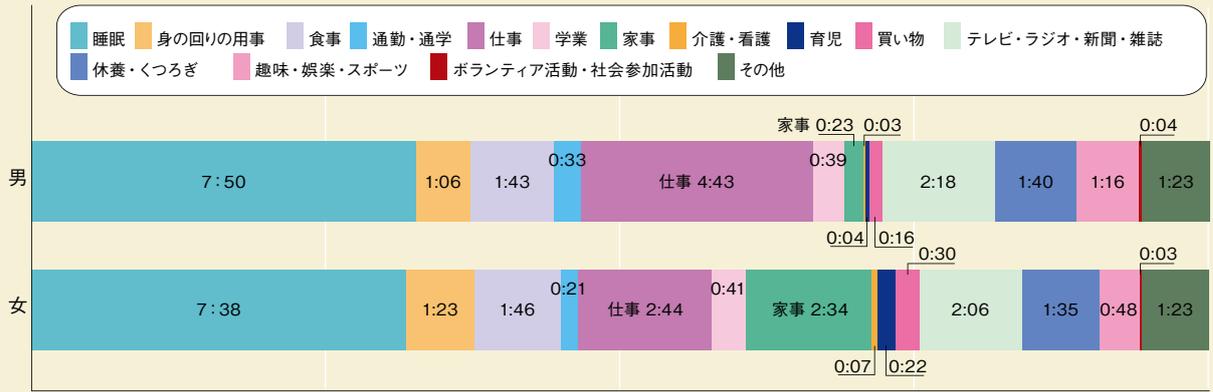
健康寿命(平成28年)



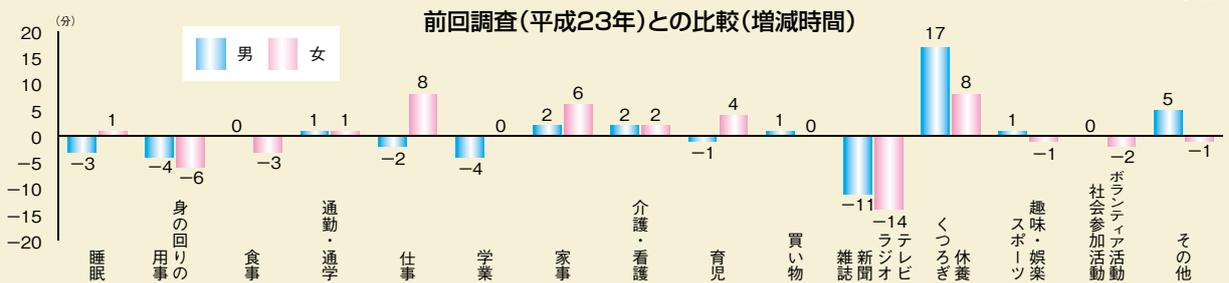
平成30年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。本県の健康寿命は、男性73.21年で全国平均72.14年を上回り全国第1位、女性76.22年で全国平均74.79年を上回り全国第3位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

社会生活

生活行動の種類別平均時間

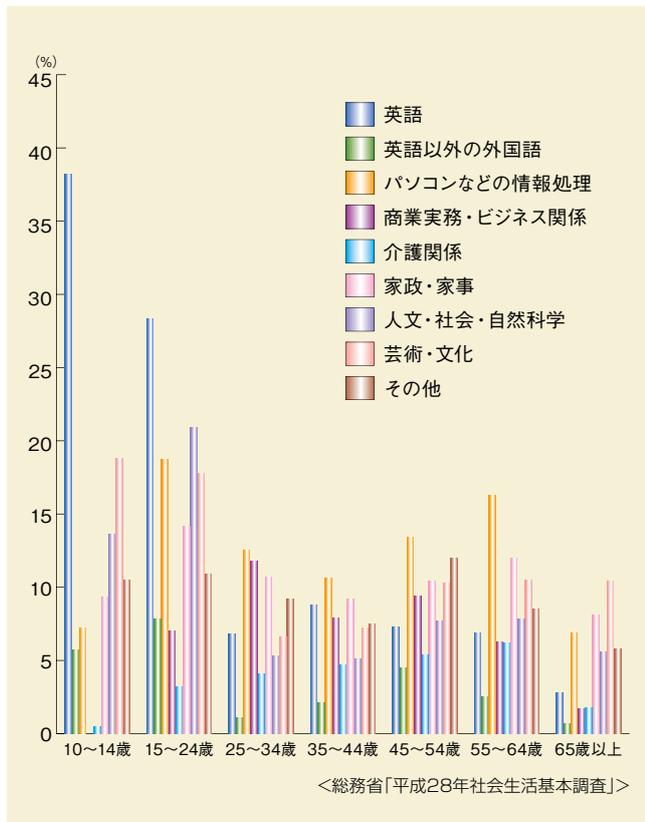


(時:分)

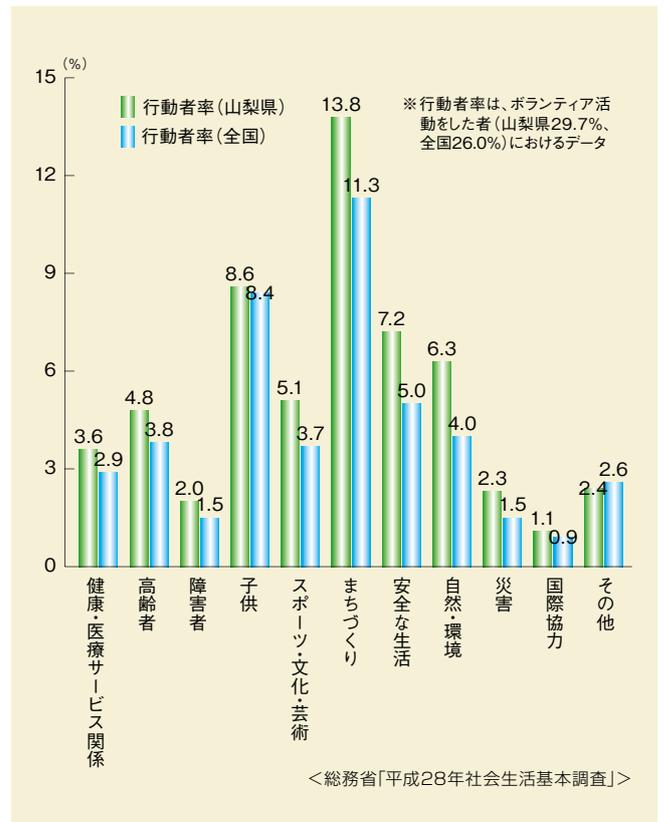


<総務省「平成28年社会生活基本調査」>

学習・自己啓発・訓練の行動者率



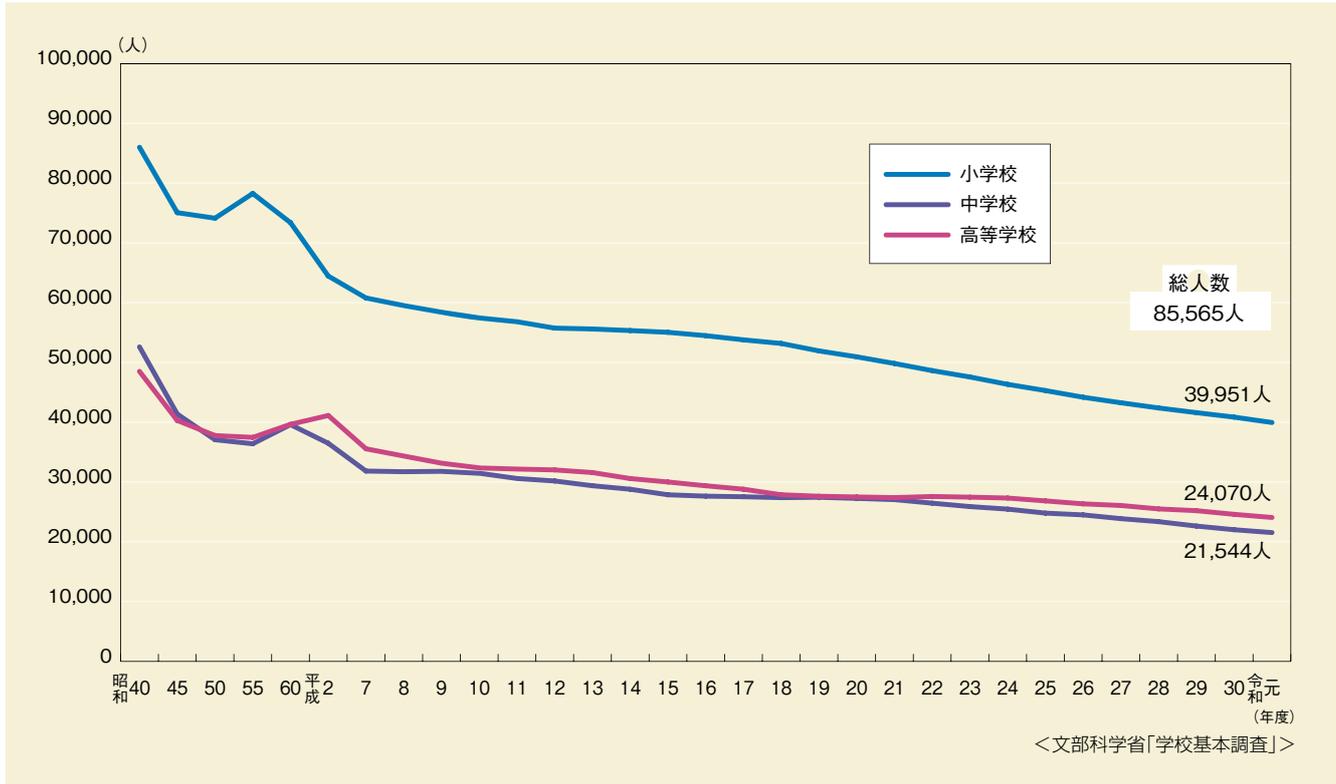
ボランティア活動



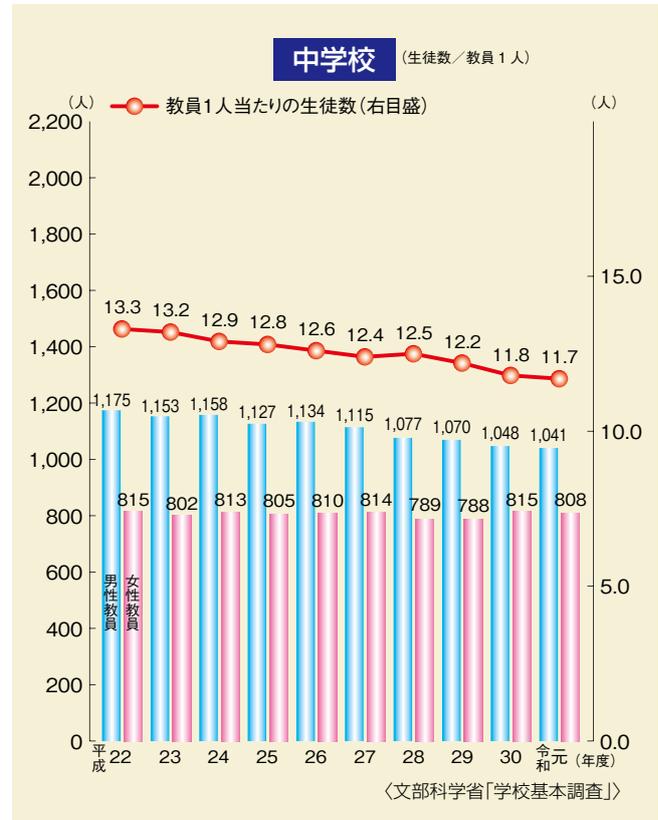
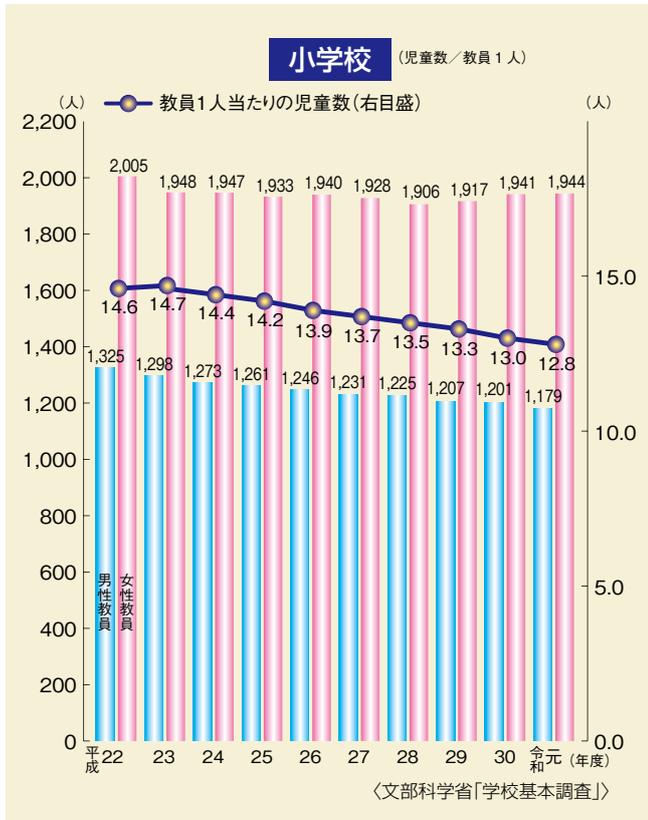
県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成23年)と比べると、男性の仕事に費やす時間は2分短く、女性の家事に費やす時間は6分長くなっています。

学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、全ての年齢階級で前回(平成23年)調査以上の率となっています。ボランティア活動の行動者率は29.7%となっており、その他を除く全ての種類で全国を上回っています。

児童・生徒数の推移 (各年5月1日現在)

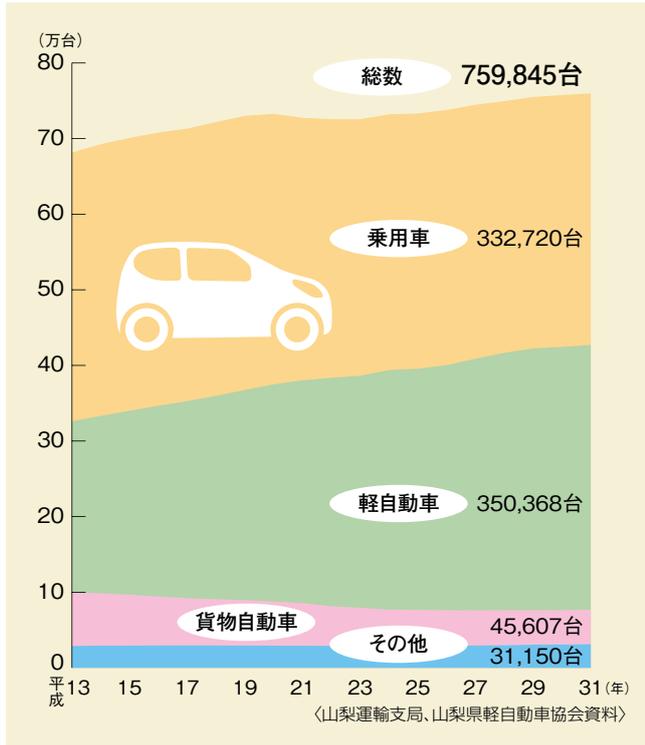


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移



令和元年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生39,951人、中学生21,544人、高校生24,070人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で12.8人、中学校で11.7人となっています。

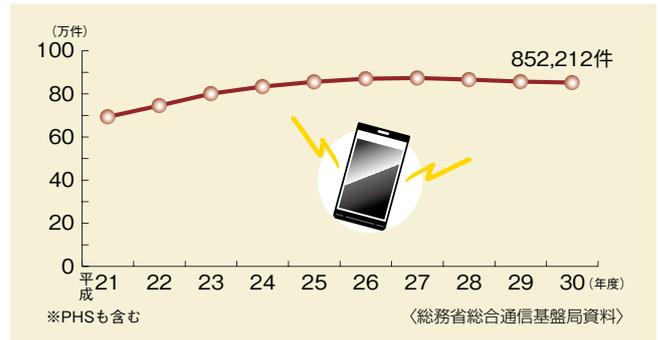
自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移



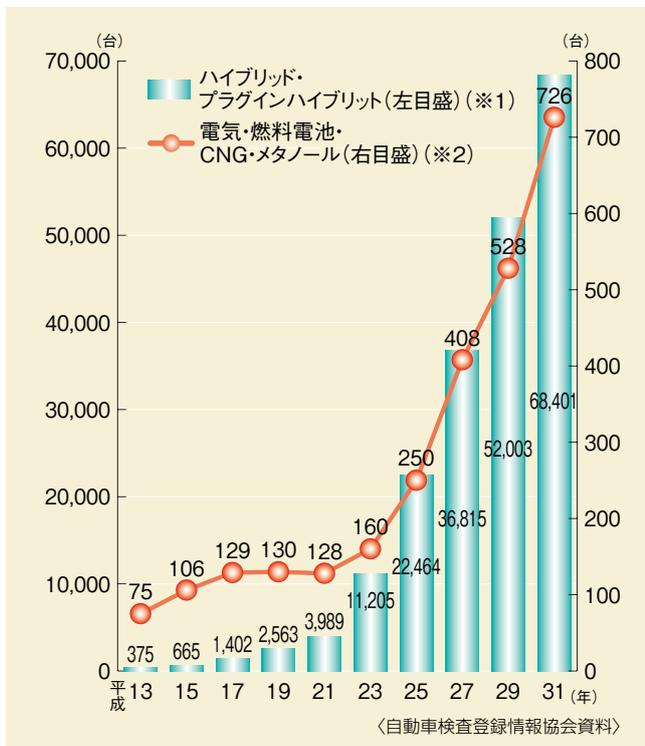
携帯電話契約数の推移



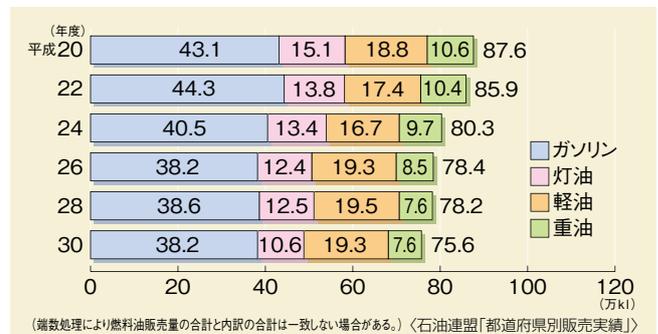
平成31年3月31日現在の本県の自動車保有台数は759,845台で、2年前に比べて4,884台増加しています。自動車新規登録台数は28,999台で前年に比べ2台減少しています。

平成31年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は852,212件で、前年に比べ4,665件減少しました。

低公害車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



燃料油販売量の推移



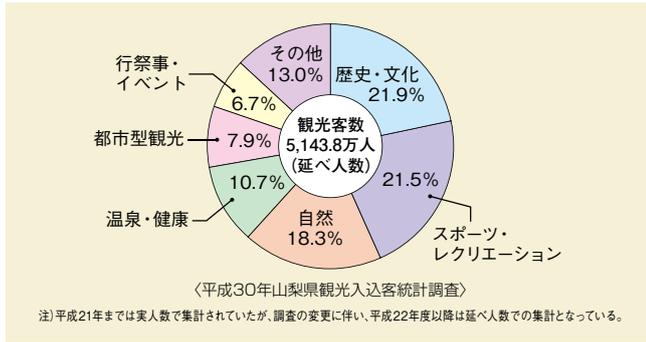
太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)



平成31年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が68,401台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が726台で、2年前に比べ※1は16,398台(31.5%)、※2は198台(37.5%)増加しています。

平成30年度の太陽光発電設備の稼働状況は585,343kWで、平成24年度に比べ565,919kW、約30倍に増加しています。

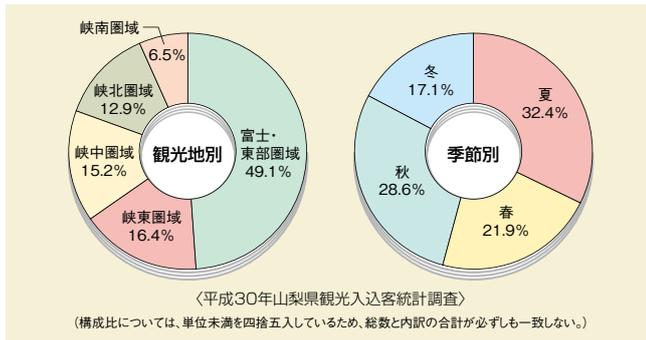
観光分類別観光客数の割合



主な観光地別観光客数



観光客数の割合(観光地別、季節別)

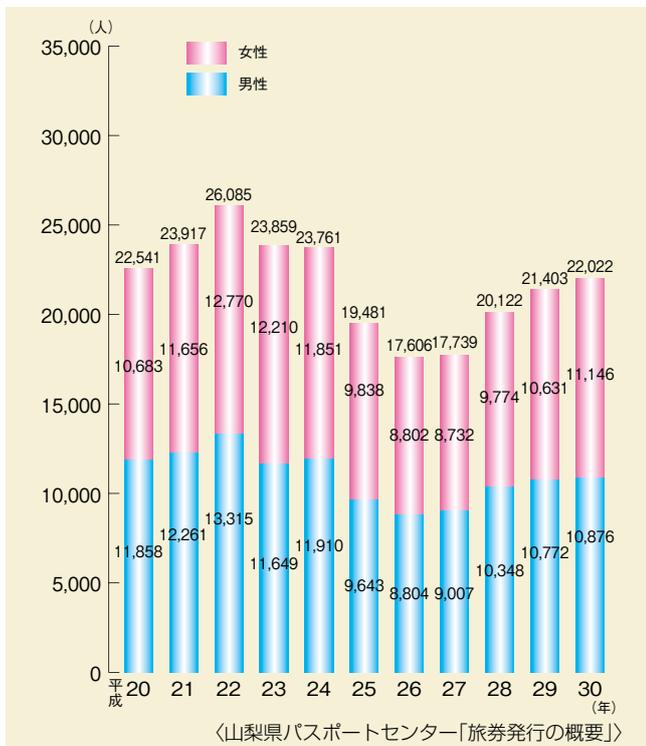


観光客数と観光消費額の推移



平成30年に本県を訪れた観光客数は延べ人数5,143.8万人で、本県の歴史・文化を求めて訪れる人が一番多く、次にスポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が多くなっています。
 本県で最も多く観光客が訪れるのは、季節では夏に、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。
 平成30年の観光消費額は4,001億円となっています。

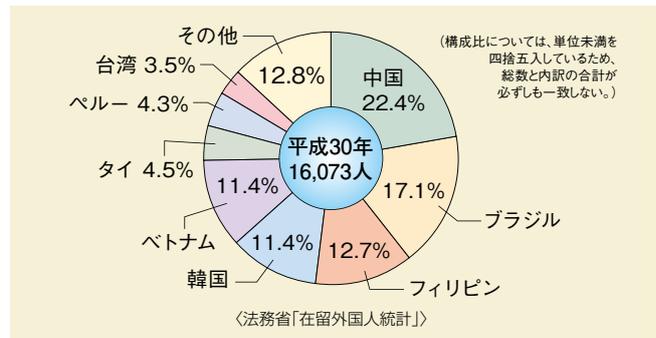
旅券発行数の推移



県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移 (各年12月末日現在)



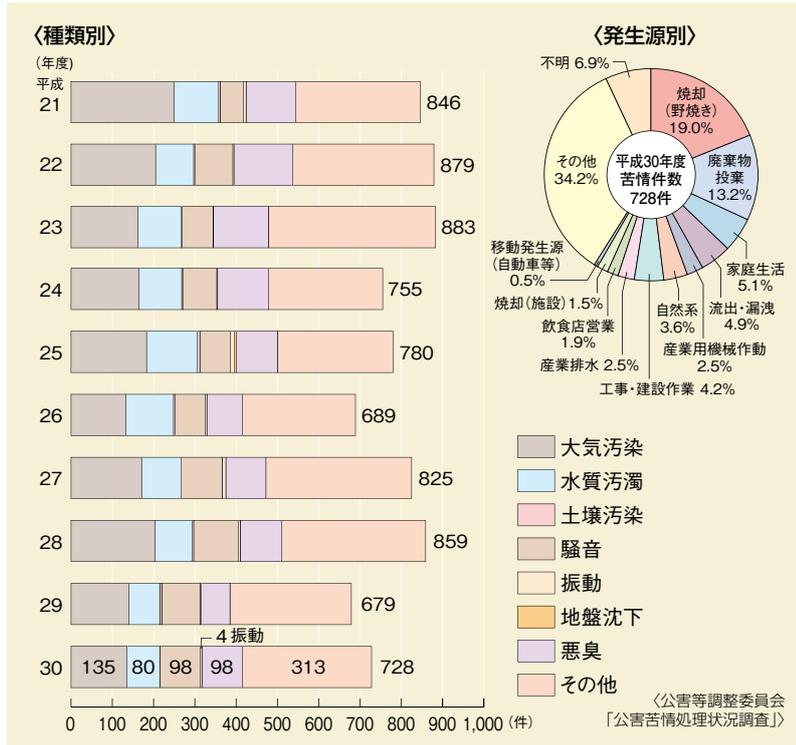
国別在留外国人割合 (平成30年12月31日)



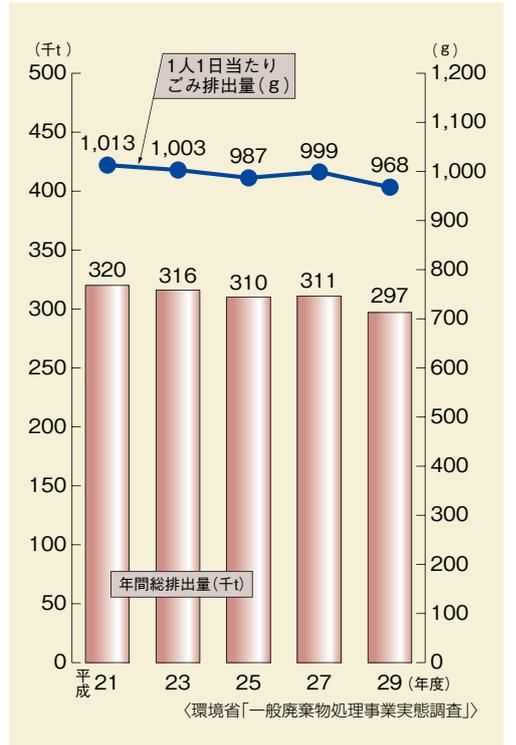
平成30年における旅券発行(者)数は22,022人で、前年に比べ619人(2.9%)増加しています。
 平成30年12月末日現在の県内の在留外国人数は16,073人で、国別にみると、中国が最も多く22.4%、次いでブラジル17.1%、フィリピン12.7%の順となっています。

居住環境

公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

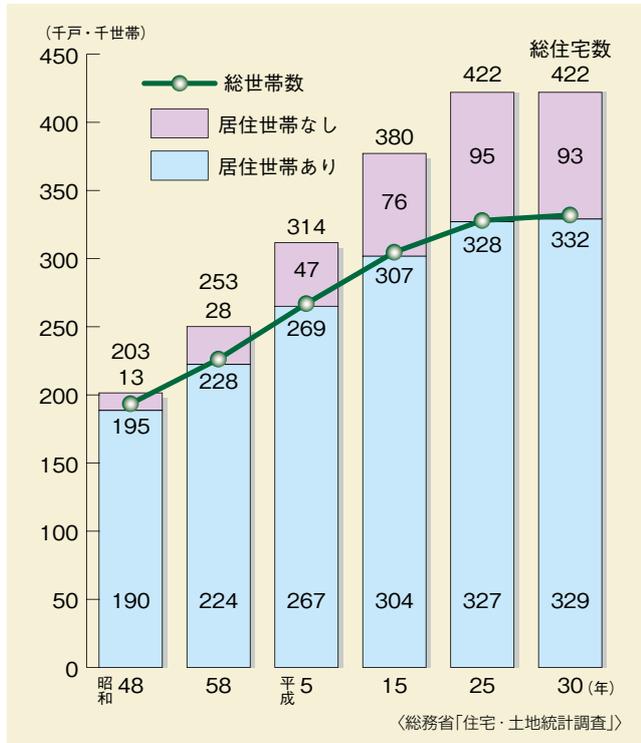


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

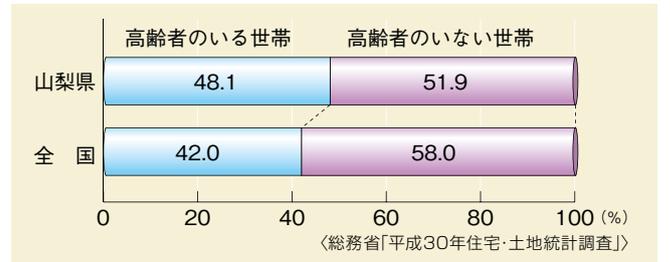


平成30年度の公害苦情件数は728件で、前年度に比べ49件増加しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の57.0%を占めており、その中では、大気汚染、騒音、悪臭、水質汚濁の順となっています。

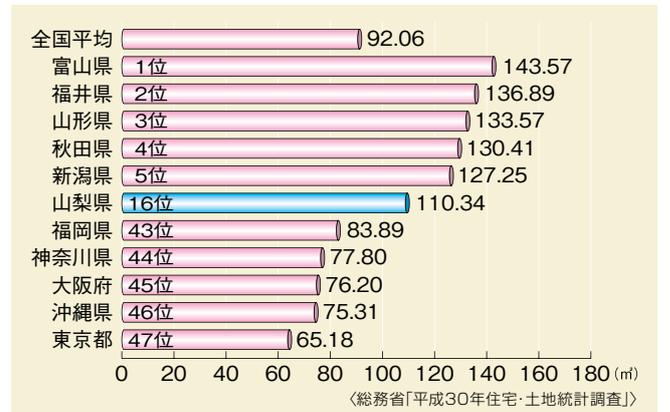
居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者のいる世帯の割合

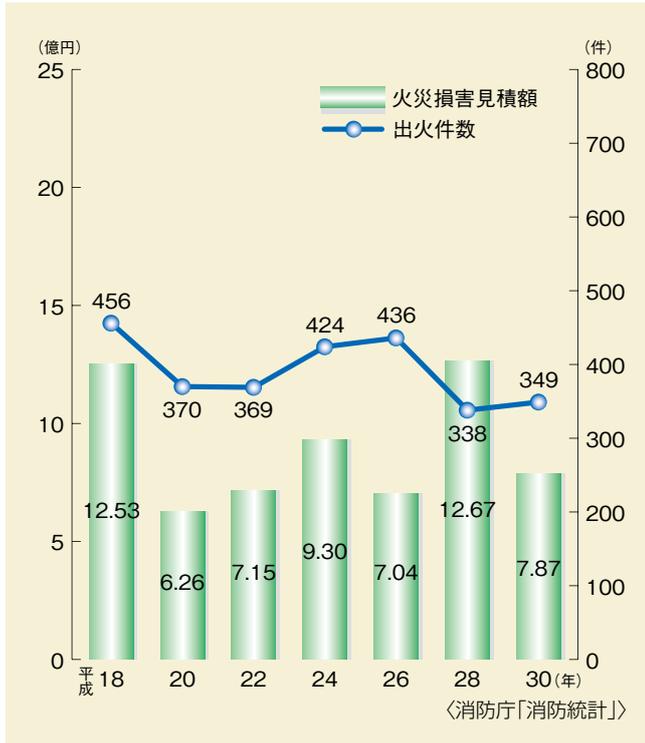


1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

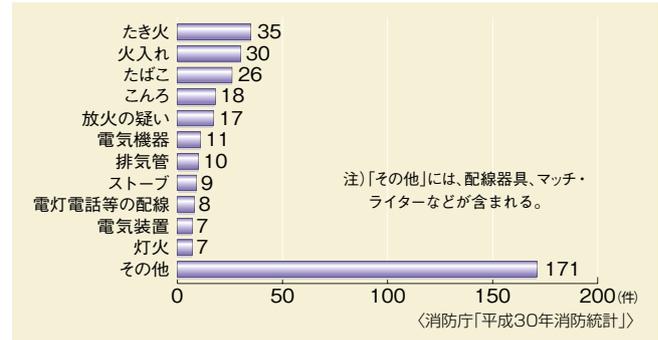


平成30年の居住世帯のある住宅数は32万9千戸、居住世帯のない住宅数は9万3千戸となっています。平成30年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると48.1%で、全国に比べて6.1ポイント高くなっています。平成30年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は110.34㎡で、全国平均(92.06㎡)より18.28㎡多くっており、全国順位第16位となっています。

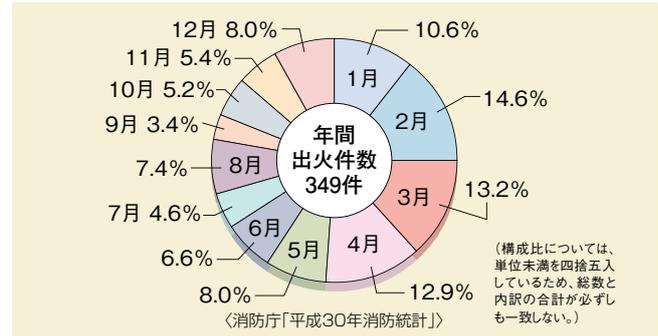
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位

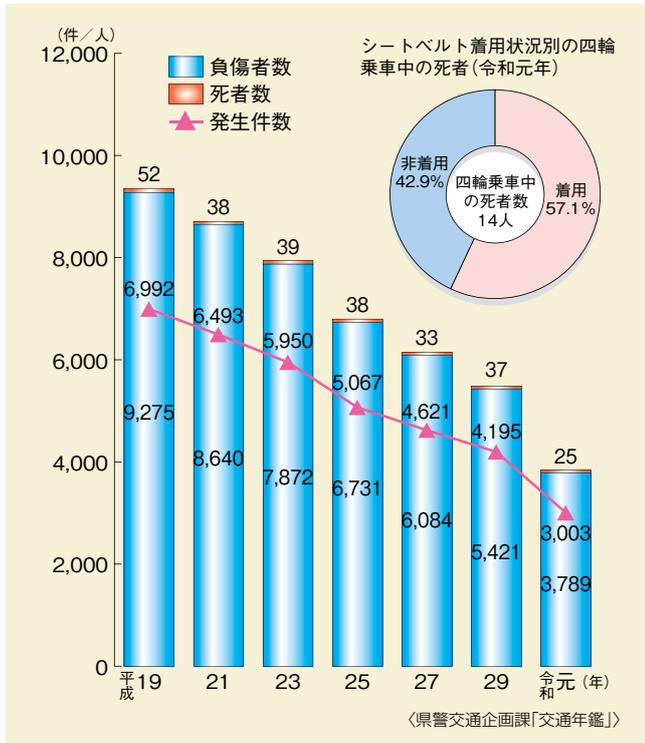


月別火災発生状況



平成30年に発生した火災は349件で、2年前と比べると11件増加しています。火災損害見積額は7億8,722万円で2年前より4億8,023万円減少しています。
また、平成30年中の月別火災発生件数は2月が最も多く、出火原因別・出火件数は、たき火、火入れ(枯草焼き等)、たばこが多くなっています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和元年の交通事故発生件数は3,003件で、2年前と比べると1,192件減少し、死者数は25人で、2年前と比べると12人減少しました。
飲酒運転事故発生件数は49件で、2年前と比べると14件減少し、死者数は2人で、2年前と比べると2人減少しました。

山梨県統計グラフコンクール 入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったことをグラフにして・・・
今年度もたくさんのすばらしい作品が集まりました。

第 1 部 (小学校 1・2 年生)

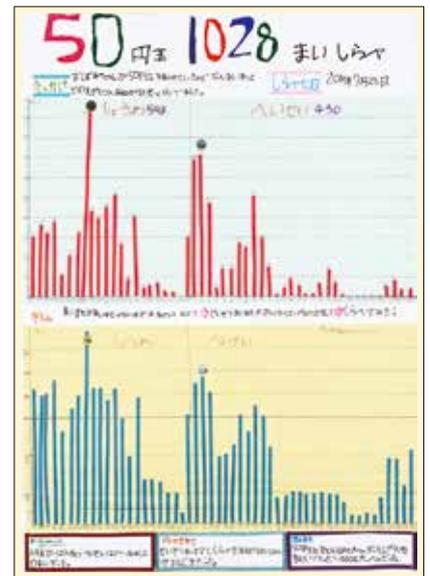
知事賞 山梨学院小学校2年 石坂 優衣さん



県内7箇所で行ったインタビューの結果について、丁寧にまとめてあります。グラフやイラストがとても分かりやすいです。

教育長賞

山梨学院小学校2年 鈴木 悠誠さん



苦勞をした分だけ、説得力のあるグラフができました。上下に並べたことで、2つのグラフの関連がより分かりやすくなっています。

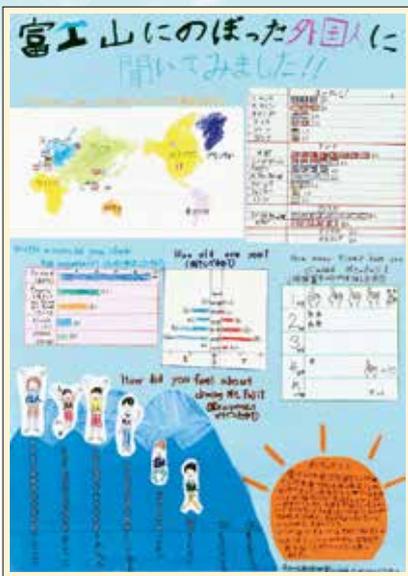
教育長賞

山梨学院小学校2年 丹沢 理人さん



全国
コンクール
佳作

キュウリの生育状況について、5ミリ単位で結果をまとめています。キュウリのイラストで長さを示している点もユニークです。



外国人の登山者に英語でインタビューをした行動力が素晴らしいです。5つのグラフそれぞれに工夫が見られます。

調査のきっかけや調査方法が明記されているので、分かりやすい作品に仕上がっています。全体の色合いも優しく、見ていてほっとする作品です。



第2部 (小学校3・4年生)



知事賞 山梨学院小学校4年 岩田 悠助さん

環境問題への強い関心を持ち、ごみ拾い等のフィールドワークを通して調査した点が素晴らしいです。写真やイラストも効果的に活用しています。

教育長賞

駿台甲府小学校4年 松本 和樺さん

自分の好きなものについて調べているので、楽しく調査できたことが伝わってきます。イラストにもユーモアがあり、温かみのある作品です。



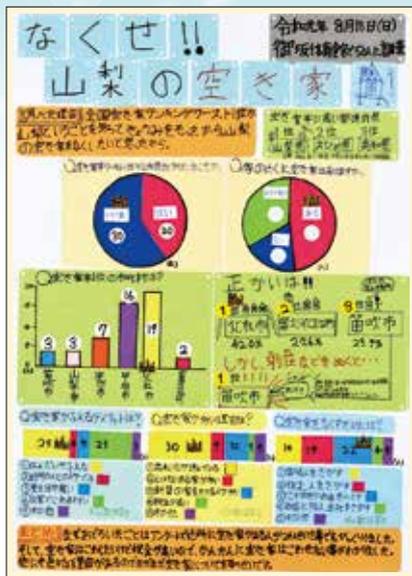
教育長賞 山梨学院小学校4年 黒木 弘乃さん



授業をきっかけに自分で課題を見つけ、調査を基に自分なりの考察をまとめることができている。画面の構成にも、様々な工夫がされています。

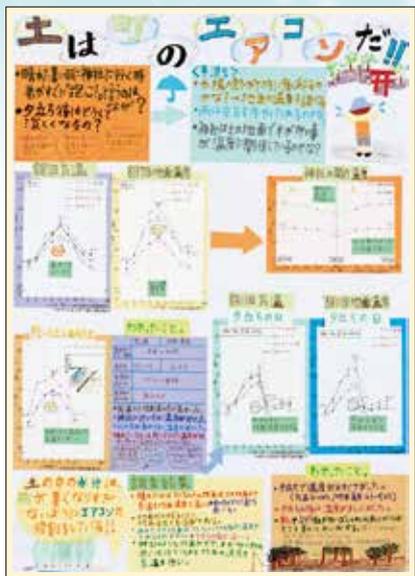
入選 山梨学院小学校4年 細倉 笙太郎さん

入選 山梨学院小学校4年 花輪 紀一郎さん



調査結果から得られたことを分かりやすく伝えるために、タイトルを工夫しています。折れ線グラフを用いて、温度変化を丁寧に記録しています。

空き家の状況について、円グラフや棒グラフで分かりやすくまとめています。自分の調査だけでなく、総務省の統計調査も活用しています。



第3部 (小学校5・6年生)

知事賞

甲府市立大國小学校6年 1年 関本 結絆さん 関本 愛絆さん



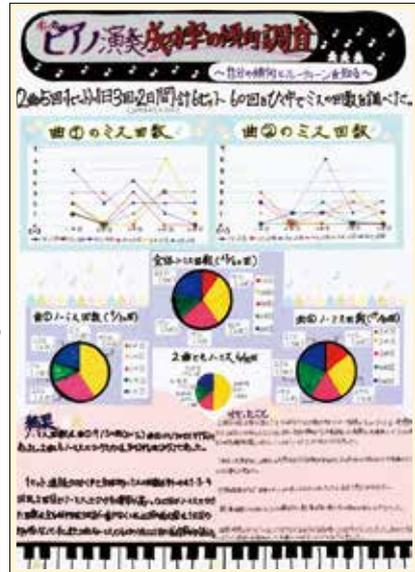
アンケート結果を様々な種類のグラフを使って表現したり、実際のラーメンを調理・撮影してわかりやすくしたりするなど、随所に工夫が見られる力作ですね。

ピアノ演奏成功率の傾向という身近な問題に着目し、2回目の成功率が最も高いという意外な結果につながったところが興味深い作品ですね。



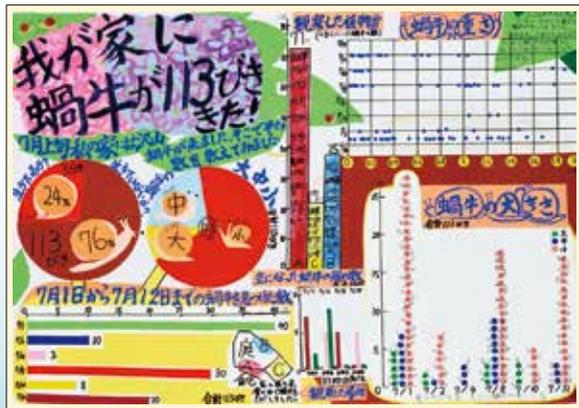
教育長賞

甲府市立新紺屋小学校6年 北原 心珠希さん



教育長賞

山梨学院小学校5年 古屋 麻奈実さん

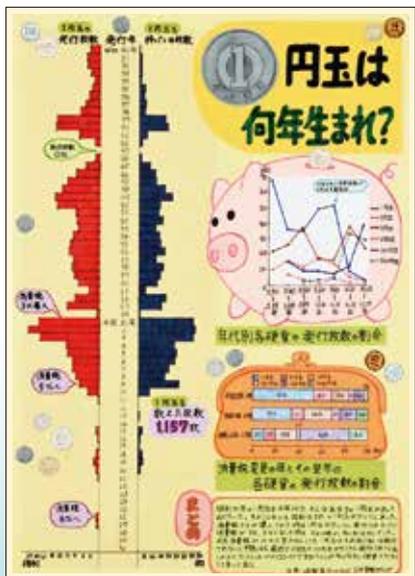


身近な生き物であるカタツムリの生態について様々な角度から調査し、インパクトのあるデザインでわかりやすくまとめた興味深い作品ですね。

1円玉の年代別発行枚数と持っている枚数を比較しながら、消費税・キャッシュレス化などの歴史と関連付け、わかりやすくまとめられていますね。

入選

山梨学院小学校6年 末木 琉偉さん



第4部 (中学生)

知事賞 駿台甲府中学校1年 北野 乃映さん

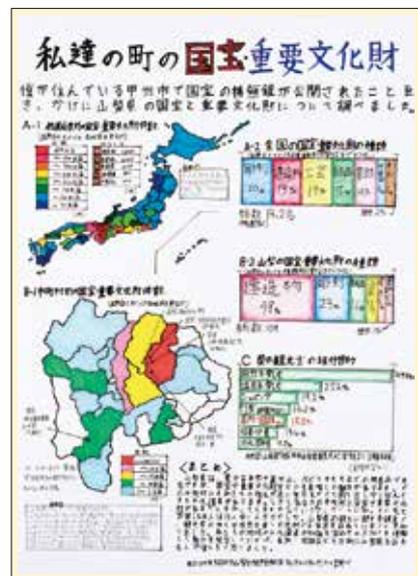
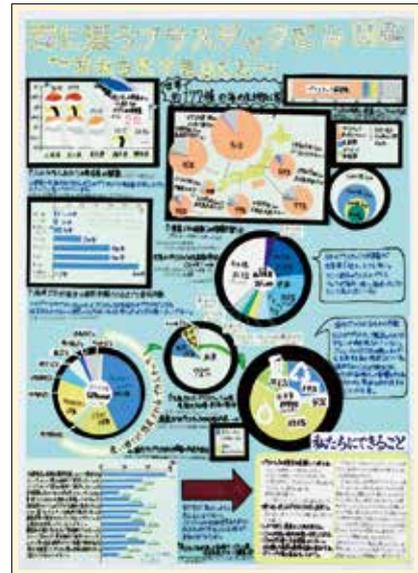


野鳥の保護と共生という山梨県ならではの問題に着目したところや、その調査結果をイラストや丁寧なレタリングによる文字でわかりやすくまとめられた力作ですね。

海に漂うプラスチックごみという地球規模の問題に着目し、様々な資料からデータを収集しわかりやすく見やすいデザインのグラフで表現していますね。

教育長賞

山梨学院中学校1年 酒井 心さん



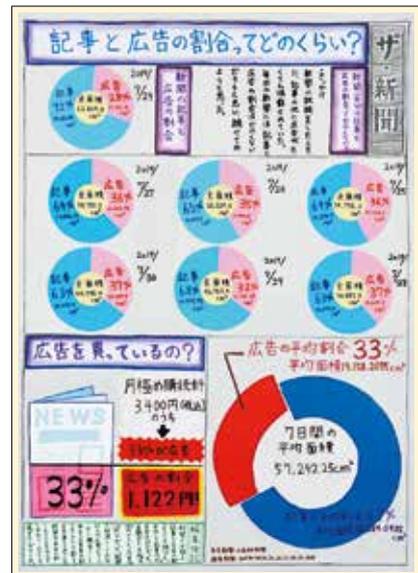
教育長賞

山梨学院中学校1年 野村 和央さん

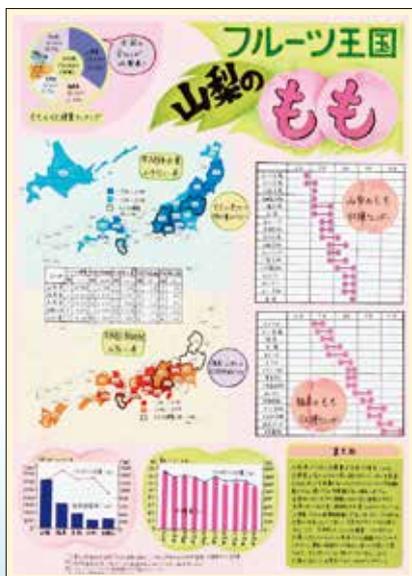
自分が住んでいる郷土(甲州市)にある重要文化財について、丁寧な調査を行い、その結果を地図やグラフなどを使ってわかりやすくまとめてありますね。

入選

駿台甲府中学校1年 天野 司明さん



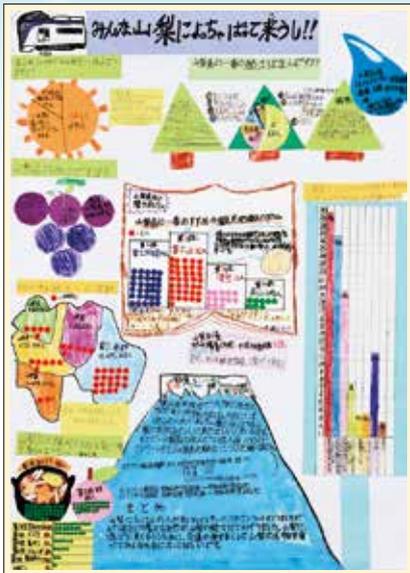
入選 山梨学院中学校2年 末木 優衣さん



記事と広告の割合に着目するだけでなく、購読料と関連付けて考察しているところが興味深いです。新聞らしいデザインできれいにまとめてありますね。

「山梨のもも」をモチーフとした印象的なタイトルデザインと、それに合わせた調査結果の表やグラフ・地図など、きれいにわかりやすく表現していますね。

第5部 (高等学校以上の生徒・学生及び一般)



入選

山梨県立かえで支援学校高等部3年 古屋 宇基さん

山梨県の魅力について、さまざまな話題から調査してまとめてあります。また、その結果を山梨県らしいデザインや色合いを使って豊かに表現した力作ですね。

パソコン統計グラフの部 (小学生以上)



知事賞 山梨学院中学校3年 青木 大空さん

誰もが気になる血液型を題材にしてアンケート調査を行い、専門書を投げ所として結果を丁寧に分析して的確な考察を加えています。

教育長賞

山梨学院中学校3年 小俣 大翔さん



データの蓄積・読み取りをしっかりと行って、さらに今後の予想までたてています。また、トマトを使った料理にも挑戦しています。

入選 山梨学院中学校3年 千葉 優月さん



教育長賞

山梨学院中学校3年 清水 優佳さん

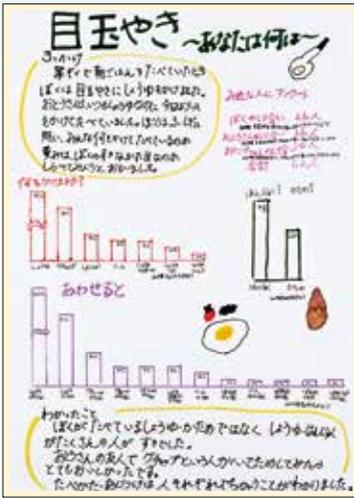
社会問題に着目し、多くのデータを総合的に分析して考察しています。また、テーマを引き立たせる印象的な背景も素晴らしいです。

来年度の東京五輪と異常気象を上手に結びつけ、シンプルながらも適切なグラフを見やすく配置してしっかりと考察を加えています。

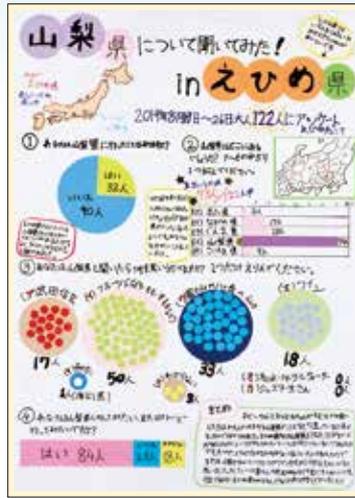


各部門佳作

第1部 山梨学院小学校2年
小林 虎太郎さん



第1部 山梨学院小学校2年
山内 ひかりさん



第2部 山梨学院小学校3年
大代 花凜さん



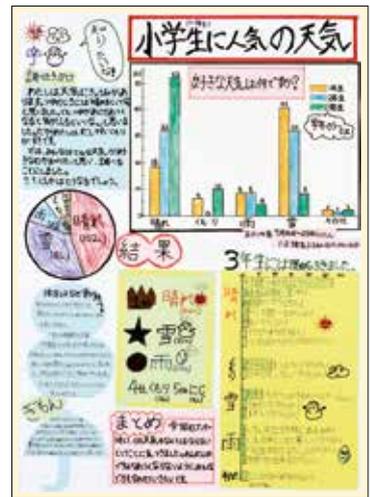
第2部 山梨学院小学校3年
大久保 慧亮さん



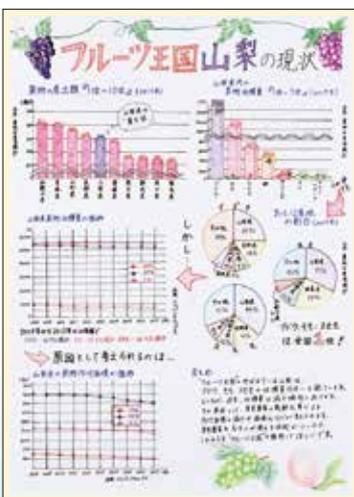
第2部 山梨学院小学校3年
塩島 陽さん



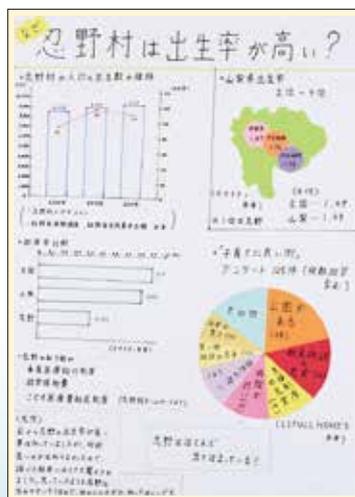
第2部 駿台甲府小学校3年
深澤 布弥さん



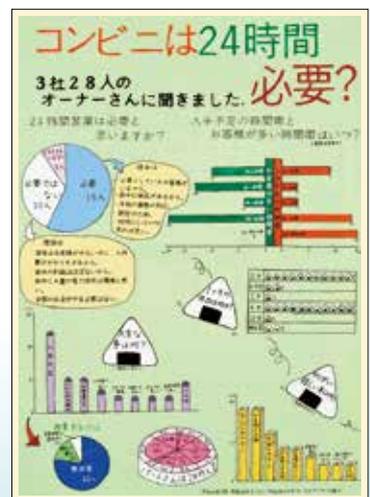
第4部 山梨学院中学校3年
三森 美涼さん



第4部 山梨学院中学校3年
大原 愛加さん



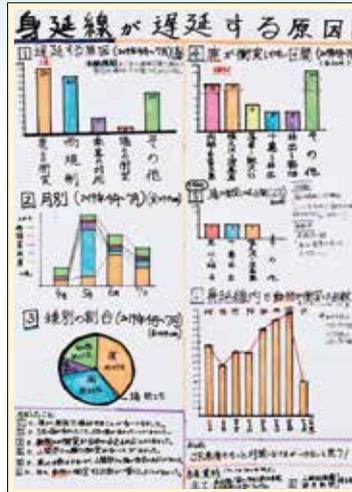
第4部 北杜市立甲陵中学校2年
田村 あずさん



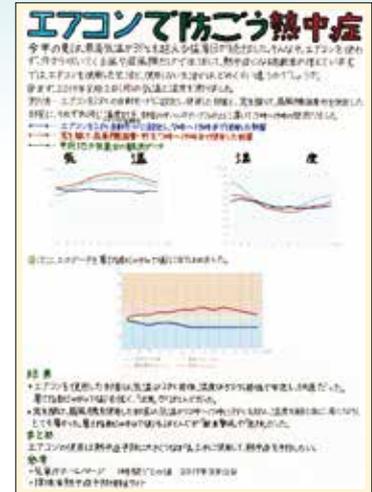
第4部 駿台甲府中学校1年
大島 健新さん



第4部 駿台甲府中学校1年
伊藤 煌卓さん



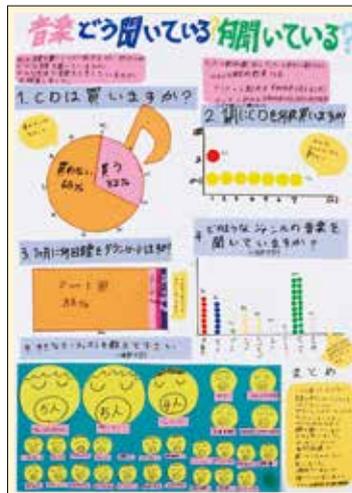
第4部 駿台甲府中学校1年
樋口 温彦さん



第4部 駿台甲府中学校1年
大塚 朱久実さん



第5部 山梨県立かえで支援学校高等部3年
綿引 真理亜さん



第5部 山梨県立かえで支援学校高等部3年
岩波 里穂さん



パソコン統計グラフの部
山梨学院中学校2年
佐々木 勇輔さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で67回目となりました。

今回は828点の応募がありましたが、この作品集には、各部門の知事賞5点、教育長賞10点、入選9点、佳作16点の計40点を掲載してあります。

統計グラフコンクールにチャレンジしてみよう!!

みなさんがつくった統計グラフを募集します。

あなたが調べて感じたことを、統計グラフにまとめてみませんか？

県内在住・在学・在勤で小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

入賞作品を集めた展示会も開催します。

入賞作品のうち優秀な作品については、全国コンクールへ出品します。

応募者全員に参加賞をお贈りします。ふるってご応募ください!!



統計グラフの作成手順

STEP 1

主題(テーマ)を決めよう

自分が調べたいことを決めます。

STEP 2

資料を集めよう

主題(テーマ)にあった資料(数値)を収集します。

STEP 3

グラフを決めよう

データや自分が伝えたい内容に応じて、使用するグラフを決定します。

STEP 4

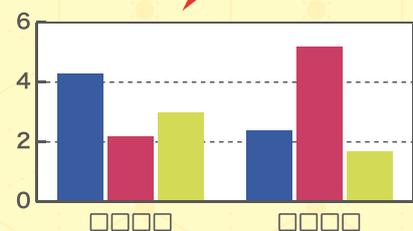
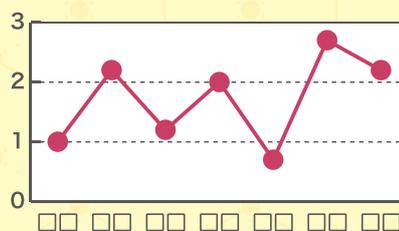
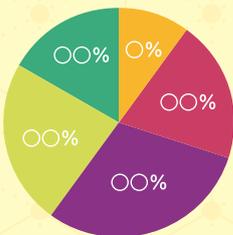
仕上げ

単位や目盛りに注意しながら、グラフを仕上げます。

応募上の留意点

- 作品の大きさはB2判(72.8cm×51.5cm)
- 作品は、自分で考えてつくったものに限ります。
- テーマは自由です。ただし、小学校4年生以下の児童については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしてください。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- ゆるキャラや五輪マークなど、ほかの人が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 取材資料の出所をグラフの表面に明記してください。
- 使用した統計資料の時点を作品に明記してください。
- 例年6月に作品募集開始になります。詳しい応募要領は、6月以降に、下記「やまなしの統計」ホームページを確認のうえ、ご応募ください。

完成



過去の入賞作品や応募方法については、県HP「やまなしの統計」をご覧ください。

自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらえるチャンスです。ふるってご応募ください。

「やまなしの統計」ホームページ

https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/



「統計からみたやまなし — 令和元年度 —」
令和2年3月発行

山梨県県民生活部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎ 055(223)1340

URL https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/